

パソコンを利用する

パソコンを使ってできること

カメラを、付属のUSBクレードルを介してパソコンに接続して、次のことができます。

画像を見る/ 保存する※	カメラの画像をパソコンで見たり、パソコンに保存することができます。 <ul style="list-style-type: none">Windowsパソコンの場合、OSのバージョンによっては、付属のUSBドライバをパソコンにインストールする必要があります。Macintoshの場合、USBドライバのインストールは不要です。
画像を管理/ 編集/印刷する	パソコンに保存した画像に対して、付属のソフトを使っているいろいろな操作ができます。 <ul style="list-style-type: none">以降の説明をお読みになり、必要なソフトをパソコンにインストールしてください。
画像を転送する	パソコンに保存されている画像をカメラに転送できます。 <ul style="list-style-type: none">カメラで撮影した画像以外の画像も転送できます。また、パソコンに表示されている画面の一部(Webページの情報や地図など)をキャプチャー(切り抜き)して転送できます。
書類データを 転送する	パソコンでプリントできる書類データをカメラに転送できます。

※カメラとパソコンを接続せず、カメラから取り出したメモリーカードを直接パソコンにセットして、画像を見たり保存したりする方法もあります(171ページ)。

カメラとパソコン、付属のソフトを使ってできることや操作のしかたは、Windowsパソコンの場合とMacintoshパソコンの場合で異なります。

- Windowsパソコンの場合→「Windowsパソコンを利用する」(144ページ)
- Macintoshの場合→「Macintoshを利用する」(163ページ)

重要

- このカメラは、USB2.0 Hi-Speedに対応しています。USB1.1対応のパソコンでもご使用できますが、USB2.0 Hi-Speedに対応したパソコンに接続することにより、より高速な転送が行えます。ただし、機器の構成やUSBハブのご使用等により、転送速度が遅くなったり、正常に動作しない場合があります。



Windowsパソコンを利用する

OSのバージョンおよび使用目的に応じて、必要なソフトをインストールしてください。

使用目的	OSのバージョン	インストールするソフト	参照ページ
<ul style="list-style-type: none"> パソコンで画像を見る パソコンに画像を保存 	XP/ 2000/ Me	— (USBドライバは不要です。)	—
	98SE/98	USB driver Type B (USBドライバです。必ずインストールしてください。)	147
パソコンに自動で画像を保存/画像の管理	XP/ 2000/ Me/ 98SE/98	Photo Loader 3.0 DirectX 9.0c (パソコンにDirectX 9.0以上がないとき)	154
静止画のレタッチ/向き変更/印刷設定	XP/ 2000/ Me/ 98SE/98	Photohands 1.0	156

使用目的	OSのバージョン	インストールするソフト	参照ページ
動画の再生	XP/Me	Windows Media Player 9 <ul style="list-style-type: none"> インターネットに接続しているときは、インターネットから該当コーデックが自動的にインストールされます。 	156
	2000/ 98SE	Windows Media Player 9 <ul style="list-style-type: none"> インターネットに接続しているときは、インターネットから該当コーデックが自動的にインストールされます。 DirectX 9.0c (パソコンにDirectX 9.0c以上がないとき)	156
	98	Windows 98 WMP6.4 コーデック <ul style="list-style-type: none"> インターネットに接続しているときは、インターネットから該当コーデックが自動的にインストールされます。 	156

使用目的	OSのバージョン	インストールするソフト	参照ページ
動画の編集	XP/2000	Ulead VideoStudioおまかせモードSE VCD (英語版は、Movie Wizard SE VCD)	158
	Me/98SE/98	— • 必要に応じて、市販のソフトをご利用ください。	—
画像の転送	XP/2000/Me/98SE/98	Photo Transport 1.0	159
書類データの転送	XP/2000	CASIO DATA TRANSPORT 1.0	175
電子本の転送	XP/2000	T-Time 5.5.7 for CASIO	176

使用目的	OSのバージョン	インストールするソフト	参照ページ
取扱説明書を表示	XP/2000/Me/98SE	Adobe Reader 6.0 (すでにインストールされているときは、不要です。)	162
	98	— • パソコンにAdobe ReaderまたはAdobe Acrobat Readerがインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからAcrobat Reader 5.0.5をインストールしてください。	—

■ パソコンの動作環境について

使用するソフトによって、必要な動作環境が異なりますので、必ず確認してください。また、各ソフトの動作環境はアプリケーションを動作させるために必要な最低限の性能です。取り扱う画像サイズや枚数によって、これ以上の性能を必要とします。

USB driver Type B

- Windows XP/2000/Meの場合は、インストールする必要はありません。
- Windows 95/3.1からバージョンアップしたパソコンでは動作保証いたしません。

Photo Loader 3.0

HD : 約40MB以上
その他 : IE5.5以上、DirectX 9.0以上

Photohands 1.0

HD : 約10MB以上

DirectX 9.0c

HD : インストールに65MB(HDは18MB)

Photo Transport 1.0

メモリ : 64MB以上
HD : 約2MB以上

CASIO DATA TRANSPORT 1.0

- OSが正常に動作すること

T-Time 5.5.7 for CASIO

- OSが正常に動作すること

Adobe Reader 6.0

CPU : Pentium
メモリ : 32MB
HD : 60MB
その他 : IE5.01以上

Windows Media Player 9

CPU : Pentium II、AMD などの233MHz
メモリ : 64MB
HD : 100MB
その他 : サウンドカード、画面の解像度800×600以上、IE5.01以上

- Windows 98をお使いのときは、CD-ROMに付属のWindows 98 WMP6.4コーデックをインストールしてください。

Ulead VideoStudioおまかせモードSE VCD(英語版: Movie Wizard SE VCD)

CPU : Pentium III 800MHz
メモリ : 256MB
HD : 250MB
その他 : 画面の解像度1024×768以上

重要

- 各ソフトの詳しい動作環境については、付属のCD-ROM（カシオデジタルカメラアプリケーションソフトウェア）内の「お読みください」ファイルを参照して、ご確認ください。

■ 英語版のソフトを利用するときは

英語版のソフトを利用したいときは、CD-ROMから英語のソフトをインストールしてください。ただし、日本語版と英語版を2重インストールしないでください。

- 英語版のソフトをインストールするときは、CD-ROMをパソコンにセットして、日本語のMENU画面が表示されたら、“Language”の“English”をクリックします。

画像をパソコンで見る／パソコンに保存する

USBクレードルを介してカメラをパソコンに接続して、画像（静止画や動画などのファイル）をパソコンで見たり、パソコンに保存することができます。

- Windowsのバージョンによっては、付属のCD-ROMからUSBドライバをインストールする必要があります。

操作の流れ

1. Windows 98SE/98の場合、USBドライバをインストールする（147ページ）
Windows XP/2000/Meの場合は、手順2に進む



2. カメラとパソコンを、USBクレードルを使って接続する（148ページ）



3. 画像ファイルを見る／保存する（150ページ）

■ USBドライバをインストールする（98SE/98の場合のみ）

USBドライバをインストールする前にカメラとパソコンを接続しない！

パソコンがカメラを認識しなくなります。

Windows 98SE/98をお使いの場合、必ず最初にUSBドライバをインストールしてください。

インストールが終わるまで、カメラとパソコンを接続しないでください。

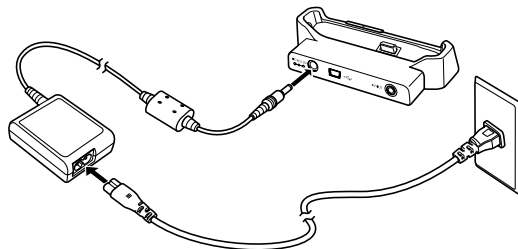
以下の操作手順は、Windows 98の場合です。Windows 98SEの場合、表示画面などが若干異なりますが、操作の流れは同じです。

1. 付属のCD-ROM(カシオデジタルカメラアプリケーションソフトウェア)をパソコンのCD-ROMドライブにセットする
メニュー画面が表示されます。
2. “USB driver B”の“インストール”をクリックする
インストールが始まります。
3. ダイアログの指示にしたがって“次へ”をクリックする
4. 完了の画面が表示されたら、“完了”をクリックする
 - セットアップ完了の画面が表示されると、ご使用のOSによってはパソコンの再起動を要求されることがあります。その場合は、再起動させます。
5. インストールが終わったら、“終了”をクリックしてメニューを終了してからCD-ROMを取り出す
 - 機種によってはパソコンが自動的に再起動する場合があります。そのときに、CD-ROMのメニューが表示される場合があります。“終了”をクリックしてメニューを終了してからCD-ROMを取り出してください。

■ カメラとパソコンを接続する

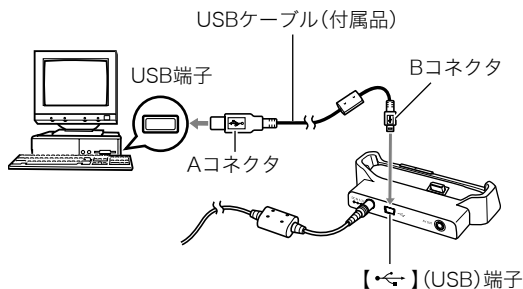
★ 重要

- ACアダプターを使用しないでパソコンとファイルのやりとりを行った場合、電池が消耗していると、操作中にカメラの電源が切れる可能性があります。専用ACアダプターを使用することをおすすめします。
1. 付属のACアダプターをUSBクレードルの【DC IN 5.3V】と家庭用コンセントに接続する



- ACアダプターを使用しないときは、十分に充電された電池を使用してください。

2. 付属のUSBケーブルで、USBクレードルとパソコンのUSB端子を接続する

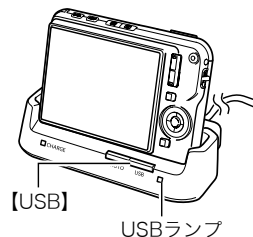


- USB端子の形状とケーブルの接続端子の形状を合わせて接続してください。
 - USBコネクタは奥まで確実に差し込んでください。正しく接続しないと、正常に動作しません。
- ### 3. カメラの【ON/OFF】を押して電源を入れ、【MENU】を押す
- カメラはまだUSBクレードルにセットしないでください。
- ### 4. “設定”タブ→“USB”と選び、【▶】を押す
- ### 5. 【▲】【▼】で“Mass Storage”を選び、【SET】を押す

6. カメラの【ON/OFF】を押して電源を切ってから、カメラをUSBクレードルの上にセットする

- カメラの電源を入れたまま、USBクレードルの上にセットしないでください。
- 内蔵メモリーの画像をパソコンに保存する場合は、カメラからメモリーカードを取り出した状態でUSBクレードルにセットしてください。

7. USBクレードルの【USB】を押す



カメラとパソコンを接続すると

USBモードになり、USBクレードルのUSBランプが緑色に点灯します。パソコンは、カメラ内のメモリーカードまたは内蔵メモリーを「リムーバブルディスク」として認識します。カメラのUSB設定を変更しない限り、次回からは手順3から5の操作は不要です。

- パソコンのOSの環境によっては、「リムーバブルディスク」ガイドが表示されることがあります。この場合は、ガイドスを閉じてください。

重要

- 「カメラをUSBクレードルからはずす」(153ページ)の操作を行わずにケーブルを抜いたり、カメラをUSBクレードルからはずさないでください。画像データが破壊される恐れがあります。

■ 2回目以降のパソコンとの接続

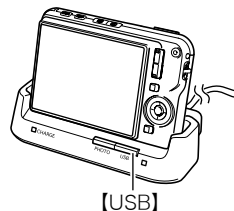
次にカメラとパソコンを接続するときは、以下のようにします(USBドライバのインストールおよびメニューからの設定が不要になります)。

1. カメラの【ON/OFF】を押して電源を切ってから、カメラをUSBクレードルの上にセットする

- カメラの電源を入れたまま、USBクレードルの上にセットしないでください。
- 内蔵メモリーの画像をパソコンに保存する場合は、カメラからメモリーカードを取り出した状態でUSBクレードルにセットしてください。

2. USBクレードルの【USB】を押す

- USBモードになり、USBクレードルのUSBランプが緑色に点灯します。



■ カメラの画像をパソコンで見る

カメラとパソコンを接続した状態で、パソコンでカメラの画像を見ることができます。

- パソコンとの接続方法は「2回目以降のパソコンとの接続」(150ページ)をご覧ください。

1. Windows XPの場合： “スタート”→“マイコン ピュータ”の順でクリック する

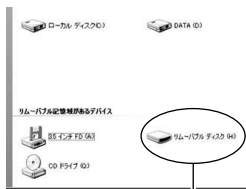
Windows 2000/Me/
98SE/98の場合：
“マイコンピュータ”をダブル
クリックする



Windows XPの場合

2. “リムーバブルディスク”をダブルクリックする

- メモリーカードまたは内蔵メモリーは、「リムーバブルディスク」として認識されています。



リムーバブルディスク

3. “DCIM”フォルダをダブルクリックする



DCIM

4. 見たい画像が入ったフォルダをダブルクリックする



5. 見たい画像ファイルをダブルクリックする

画像が表示されます。

- ファイル名については「メモリー内のフォルダ構造」(173ページ)を参照ください。



参考

- カメラ内で回転表示させた画像をパソコンで見た場合は、回転させる前の画像が表示されます。

■ 画像をパソコンに保存する

パソコンで画像を加工したりアルバムを作るには、画像をパソコン内に保存する必要があります。保存は、カメラをUSBケーブルを介してパソコンに接続した状態で行います。

- パソコンとの接続方法は「2回目以降のパソコンとの接続」(150ページ)をご覧ください。

1. Windows XPの場合:
“スタート”→“マイコン
ピュータ”の順でクリック
する

Windows 2000/Me/
98SE/98の場合:
“マイコンピュータ”をダブル
クリックする

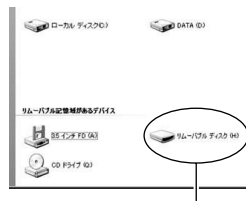
2. “リムーバブルディスク”を
ダブルクリックする

- メモリーカードまたは内
蔵メモリーは、「リムーバ
ブルディスク」として認識
されています。

3. “DCIM”フォルダを右ボタ
ンでクリックする



Windows XPの場合



リムーバブルディスク



DCIM

4. メニューの“コピー”をクリックする

5. Windows XPの場合:
“スタート”→“マイドキュメント”の順でクリックする
Windows 2000/Me/98SE/98の場合:
“マイドキュメント”をダブルクリックして開く

- すでに“DCIM”フォルダが保存されている場合は、上書き
されてしまいます。すでに保存されている“DCIM”フォル
ダの名前を変えるなどしてからコピーしてください。

6. “マイドキュメント”メニューで、“編集”→“貼り付け”の
順でクリックする

“DCIM”フォルダ(画像ファイルが保存されているフォル
ダ)が“マイドキュメント”フォルダにコピーされ、画像も一
緒にパソコンに保存されます。

重要

- 内蔵メモリーやメモリーカード内の画像に対して、パソ
コンで修正・削除・移動・名前の変更などを行わないでくだ
さい。画像管理データと整合性がとれず、カメラで再生できな
くなったり、撮影枚数が極端に変わったりします。修正・削
除・移動・名前の変更などはパソコンに保存した画像で行っ
てください。
- 画像を見たり保存している途中でケーブルを抜いたり、カ
メラやクレードルの操作を行わないでください。データが
破壊される恐れがあります。

■ カメラをUSBクレードルからはずす

Windows XP/98SE/98の場合

USBクレードルの【USB】を押し、USBランプが消灯したのを確認してから、カメラをUSBクレードルから取りはずします。

Windows 2000/Meの場合

パソコン画面上的タスクトレイのカードサービスを左クリックし、カメラに割り当てられているドライブ番号の停止を選択します。その後、USBクレードルの【USB】を押し、USBランプが消灯したのを確認してから、カメラをUSBクレードルから取りはずします。

パソコンに自動で画像を保存する/画像を管理する

パソコンに保存した画像を管理するには、付属のCD-ROMに収録されているPhoto Loaderをパソコンにインストールします。Photo Loaderを使用すれば、パソコンに画像を自動で取り込んで、撮影年月日で整理ができ、カレンダー形式で表示することができます。

参考

- すでにパソコンにPhoto Loaderをインストールしている場合は、そのバージョンを確認してください。もしバージョンが古い場合は、古いバージョンのPhoto Loaderをアンインストールしたあと、新しいバージョンのPhoto Loaderをインストールしてください。

■ Photo Loaderをインストールする

1. パソコンを起動し、付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる
 - パソコンの設定によっては、自動的にメニュー画面が表示されない場合があります。その場合は、CD-ROMが割当てられているドライブを開き、MENU.exeをダブルクリックしてください。
2. Photo Loaderの“お読みください”をクリックして、読む
 - インストールするために必要な条件や動作環境が書かれています。
3. Photo Loaderの“インストール”をクリックする

4. 画面の指示にしたがって操作する

Photo Loaderがインストールされます。

- Windows 98SE/98の場合
Photo Loader のインストール後、Jet40SP8_9xNT.exe およびMDAC (Microsoft Data Access Components) 2.8のインストール画面が表示された場合は、続けて画面の指示にしたがってインストールしてください。
Jet40SP8_9xNT.exeおよびMDAC 2.8以上がインストール済みの場合、インストール画面は表示されません。
- Windows XP(SP1を含む)/2000/Meの場合
(Windows XP SP2は含みません)
Photo Loader のインストール後、MDAC (Microsoft Data Access Components)2.8のインストール画面が表示された場合は、続けて画面の指示にしたがってインストールしてください。MDAC 2.8以上がインストール済みの場合、インストール画面は表示されません。

重要

- Photo Loaderのバージョンアップ、再インストールやパソコンを変更する場合で、以前使用していたライブラリ情報を継続させる方法については、“お読みください”をご覧ください。手順を確認してください。手順通りにインストールしないと、以前のライブラリ管理情報やカレンダー形式のHTMLファイルがPhoto Loaderで見ることができなくなるばかりか、取り込んだ画像ファイルが消失する恐れがあります。

DirectXの確認

Photo Loaderで取り込んだ画像を管理するには、パソコンにDirectX 9.0以上がインストールされている必要があります。パソコンの「DirectX 診断ツール」を見てDirectXのバージョンを確認してください。

1. パソコンのメニューで“スタート”→“すべてのプログラム”→“アクセサリ”→“システムツール”の順でたどり、“システム情報”を開く
2. メニューバーから“ツール”→“DirectX 診断ツール”の順で開く
3. “システム”タブをクリックし、“DirectX バージョン”が9.0以上であることを確認する
4. “終了”をクリックして「DirectX 診断ツール」を終了する
 - DirectX 9.0以上がインストールされている場合は、付属のCD-ROMに収録されている「DirectX 9.0c」をインストールする必要はありません。
 - DirectX 9.0以上がインストールされていない場合は、付属のCD-ROMに収録されている「DirectX 9.0c」をインストールしてください。

静止画像のレタッチ／向きの変更／印刷設定をする

静止画像のレタッチ、向きの変更や印刷設定をするには、付属のCD-ROMに収録されているPhotohandsをパソコンにインストールします。



重要

- すでにパソコンにPhotohandsをインストールしている場合は、そのバージョンを確認してください。もしバージョンが古い場合は、古いバージョンのPhotohandsをアンインストールしたあと、新しいバージョンのPhotohandsをインストールしてください。

■ Photohandsをインストールする

1. パソコンを起動し、付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる
 - パソコンの設定によっては、自動的にメニュー画面が表示されない場合があります。その場合は、CD-ROMが割り当てられているドライブを開き、MENU.exeをダブルクリックしてください。
2. “Photohands”の“お読みください”をクリックして、読む
 - インストールするために必要な条件や動作環境が書かれています。
3. “Photohands”の“インストール”をクリックする
4. 画面の指示にしたがって操作する
Photohandsがインストールされます。

動画を再生する

動画はパソコンにすでにインストールされているWindows Media Playerで再生することができます。パソコンに動画をコピーしてから、画像ファイルをダブルクリックして再生してください。

動画をWindows Media Playerで再生するには、カメラで作成したMPEG-4対応のコーデックがパソコンにインストールされている必要があります。パソコンがインターネットに接続できる場合と接続できない場合ではMPEG-4コーデックのインストール方法が違います。環境に合わせて以下のいずれかの手順でインストールしてください。

■ パソコンがインターネットに接続できる環境をお持ちの場合

1. パソコンをインターネットに接続する
2. カメラで撮影した動画ファイルをダブルクリックする
MPEG-4対応のコーデックがパソコンにインストールされていない場合は、Microsoft社のホームページに自動的に接続し、MPEG-4対応のコーデックがダウンロードされます。
3. ダウンロードされたMPEG-4対応のコーデックをインストールする
インストール完了後、カメラで撮影した動画ファイルが表示されます。

参考

- すでにMPEG-4対応のコーデックがインストールされている場合は、動画ファイルをダブルクリックするとカメラで撮影した動画ファイルが表示されます。

■ パソコンがインターネットに接続できる環境をお持ちでない場合

付属のCD-ROMに収録されているWindows Media Player 9をパソコンにインストールします。

1. パソコンを起動し、付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる

- パソコンの設定によっては、自動的にメニュー画面が表示されない場合があります。その場合は、CD-ROMが割り当てられているドライブを開き、MENU.exeをダブルクリックしてください。

2. “Windows Media Player 9”の“お読みください”をクリックして、読む

- インストールするために必要な条件や動作環境が書かれています。

3. “Windows Media Player 9”の“インストール”をクリックする

4. 画面の指示にしたがって操作する

Windows Media Player 9がインストールされます。

重要

- Windows 98の場合は、Windows Media Player 9の代わりにWindows 98 WMP6.4コーデックをインストールします。
- Windows 2000/98SEの場合は、DirectX 9.0cがパソコンにインストールされている必要があります。DirectXのバージョンは155ページの方法でご確認ください。
- Windows Media Player 9を使用して再生する場合、ご使用のメモリーカードにより、以下のように設定してください。
 - 高速タイプのメモリーカードの場合：
 - Windows Media Playerは基本設定のままでご使用ください。
 - 高速タイプでないメモリーカードの場合：
 - 動画の表示を安定させるために、Windows Media Playerは下記の設定変更を行ってください。
 - ① メニューバーを“ツール”→“オプション”とたどり“パフォーマンス”タブを開く
 - ② “ビデオアクセラレータ”の“詳細”を開く
 - ③ “ビデオアクセラレータ”の“ビデオミキシングレンダラを使う”のチェックを外す
 - ④ “旧ビデオレンダラ”の“YUV反転を使う”のチェックを外す

■ 動画再生時の動作環境

カメラで撮影した動画をパソコンで再生する場合、以下の動作環境を推奨します。

- OS : XP
CPU : Pentium M, 1GHz 以上
Pentium 4, 2GHz 以上
必要なソフトウェア : Windows Media Player 9
DirectX 9.0c

重要

- 上記の動作環境は推奨の環境であり、動作を保証するものではありません。
- 上記動作環境のパソコンでも、設定状態やインストールされているソフトウェアによっては、正しく動作しない場合があります。

動画を編集する

動画を編集するには、付属のCD-ROMに収録されているUlead VideoStudioおまかせモードSE VCD(英語版:MovieWizard SE VCD) をパソコンにインストールします。

参考

- 付属のCD-ROMに収録されているUlead VideoStudioおまかせモードSE VCDはVideo-CDの作成はできますが、DVDの作成はできません。製品版にアップグレード(有料)することでDVDの作成ができるようになります。Ulead VideoStudioおまかせモードSE VCDの機能やバージョンアップについては「お読みください」をご覧ください。

■ Ulead VideoStudioおまかせモードSE VCDをインストールする

1. パソコンを起動し、付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる
 - パソコンの設定によっては、自動的にメニュー画面が表示されない場合があります。その場合は、CD-ROMが割り当てられているドライブを開き、MENU.exeをダブルクリックしてください。
2. “Ulead VideoStudioおまかせモードSE VCD”の“お読みください”をクリックして、読む
 - インストールするために必要な条件や動作環境が書かれています。
3. “Ulead VideoStudioおまかせモードSE VCD”の“インストール”をクリックする
4. 画面の指示にしたがって操作する
 - “Ulead VideoStudioおまかせモードSE VCD”がインストールされます。


カメラに画像を転送する

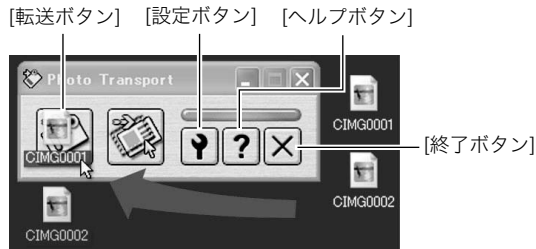
パソコンに取り込んだ画像を、もう一度カメラへ戻すには、付属のCD-ROMに収録されているPhoto Transportをパソコンにインストールします。

■ Photo Transportをインストールする

1. パソコンを起動し、付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる
 - パソコンの設定によっては、自動的にメニュー画面が表示されない場合があります。その場合は、CD-ROMが割り当てられているドライブを開き、MENU.exeをダブルクリックしてください。
2. Photo Transportの“お読みください”をクリックして、読む
 - インストールするために必要な条件や動作環境が書かれています。
3. Photo Transportの“インストール”をクリックする
4. 画面の指示にしたがって操作する
Photo Transportがインストールされます。

■ 画像ファイルをカメラに転送する

1. あらかじめデジタルカメラをパソコンに接続しておく
 - パソコンとの接続方法は、148ページをご覧ください。
2. パソコンのメニューで“スタート”→“すべてのプログラム”→“Casio”→“Photo Transport”の順でクリックして、Photo Transportを開く
Photo Transportが起動します。
3. Photo Transportの[転送ボタン]に転送したい画像ファイルをドラッグアンドドロップする
ドラッグアンドドロップは次のようにします。転送したい画像ファイルに“” (矢印)を合わせ、マウスの左ボタンを押したままにします。そのままPhoto Transportの[転送ボタン]に画像データを引きずり、マウスの左ボタンを離します。



4. 画面の指示にしたがって操作する

画像ファイルがカメラに転送されます。

- 画面の指示や転送される画像の詳細はPhoto Transportの設定によって異なります。詳しくはPhoto Transportのヘルプをご覧ください(161ページ)。

★ 重要

- 動画は転送できません。
- 転送できる画像は下記の拡張子の画像データです。
.jpg、.jpeg、.jpe、.bmp(.bmpはJPEG画像に変換されて転送されます。)

■ パソコンの画面をカメラに転送する

パソコンに表示されている画面を取り込んで、画像ファイルとしてカメラへ送ることができます。


1. あらかじめデジタルカメラをパソコンに接続しておく
 - パソコンとの接続方法は、148ページをご覧ください。
2. パソコンのメニューで“スタート”→“すべてのプログラム”→“Casio”→“Photo Transport”の順でクリックして、Photo Transportを開く
Photo Transportが起動します。
3. 転送したい画面を表示する

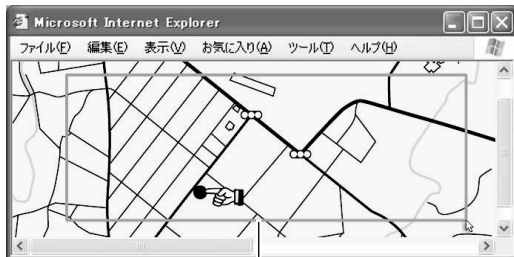
4. Photo Transportの[キャプチャーボタン]をクリックする



[キャプチャーボタン]

5. 転送したい範囲を囲む

転送したい部分の左上に“” (矢印)を移動してマウスの左ボタンを押したままにし、そのままマウスを右下へずらすことで転送したい範囲を囲みます。



転送される範囲

6. 画面の指示にしたがって操作する

囲んだ範囲の画像がカメラに転送されます。

- 画面の指示や転送される画像の詳細はPhoto Transportの設定によって異なります。詳しくはPhoto Transportのヘルプをご覧ください(161ページ)。

重要

- キャプチャーした画像はJPEG画像に変換されて転送されます。

■ 設定/ヘルプについて

設定内容の変更は[設定ボタン]をクリックして変更します。設定内容、操作方法やトラブルシューティングについては、Photo Transportの[ヘルプボタン]をクリックしてヘルプをご覧ください。

取扱説明書(PDFファイル)を読む

1. パソコンを起動し、付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる
 - パソコンの設定によっては、自動的にメニュー画面が表示されない場合があります。その場合は、CD-ROMが割り当てられているドライブを開き、MENU.exeをダブルクリックしてください。
2. “取扱説明書”のお読みになりたいアプリケーションソフトの名前をクリックする

重要

- 取扱説明書をお読みになるには、パソコンにAdobe ReaderまたはAdobe Acrobat Readerがインストールされている必要があります。インストールされていない場合は、“ソフトのインストール”でAdobe Readerをインストールしてください。

ユーザー登録をする

パソコンからインターネットを通してのみ、ユーザー登録をすることができます。ユーザー登録をするには、パソコンがインターネットに接続されていることが必要です。「カシオデジタルカメラオフィシャルWebサイト」へのユーザー登録となります。ユーザー登録で登録いただいた個人情報のお取り扱いに関しては、Webサイト上の「ご利用になる前に」に記載されていますので、ご確認ください。ユーザー登録はデジタルカメラ本体や付属ソフトのバージョンアップのご連絡その他情報発信を目的としています。付属ソフトウェアについては、ユーザー登録をしなくてもインストールや使用は可能です。

1. パソコンを起動し、付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる
 - パソコンの設定によっては、自動的にメニュー画面が表示されない場合があります。その場合は、CD-ROMが割り当てられているドライブを開き、MENU.exeをダブルクリックしてください。
2. “オンラインユーザー登録”をクリックする
Webブラウザソフトが起動し、ユーザー登録が可能になります。
3. 画面の指示にしたがってユーザー登録を行う

4. ユーザー登録が終了したら、インターネットの接続を終了する

- 下記のアドレスからもユーザー登録ができます。
<http://www.casio.jp/reg/dc/>

CD-ROMのメニューを終了する

CD-ROMのメニューを終了するには、“終了”をクリックします。

Macintoshを利用する

Macintosh OSのバージョンおよび使用目的に応じて、必要なソフトをインストールしてください。

使用目的	OSのバージョン	インストールするソフト	参照ページ
<ul style="list-style-type: none">• パソコンで画像を見る• パソコンに画像を保存	OS 9/ OS X	— (USBドライバは不要です。)	165
パソコンに自動で画像を保存/画像の管理	OS 9	Photo Loader 1.1	168
	OS X	— <ul style="list-style-type: none">• OSにバンドルされているiPhotoが利用できます。	—
動画の再生	OS X	CASIO AVI Importer component 1.1 <ul style="list-style-type: none">• CASIO AVI Importer component 1.1 をインストールすると、OSにバンドルされているQuickTimeで再生できます。	169
書類データの転送	OS X	CASIO DATA TRANSPORT 1.0	178

使用目的	OSのバージョン	インストールするソフト	参照ページ
取扱説明書を表示	OS 9/ OS X	— • OSにバンドルされているAdobe ReaderまたはAdobe Acrobat Readerが利用できます。	170

参考

- Photo Loader 1.1では、画像のプリントはできません。市販のプリント用ソフトをご利用ください。

■ パソコンの動作環境について

使用するソフトによって必要な動作環境が異なりますので、必ず確認してください。また、各ソフトの動作環境はアプリケーションを動作させるために必要な最低限の性能です。取り扱う画像サイズや枚数によって、これ以上の性能を必要とします。

Photo Loader 1.1

メモリ : 32MB

HD : 約3MB以上

USB接続は、Mac OS 9/Xで可能です。標準搭載のドライバで動作しますので、そのままUSBクレードルを介してカメラとパソコンを接続してください。

CASIO AVI Importer component 1.1

OS : OS X 10.2.8以降

QuickTimeバージョン : QuickTime 6.5.2以降

CASIO DATA TRANSPORT 1.0

OS : OS X 10.2.8以降

その他 : OSが正常に動作すること

★ 重要

- 各ソフトの詳しい動作環境については、付属のCD-ROM (カシオデジタルカメラアプリケーションソフトウェア)内の「お読みください」ファイルを参照して、確認してください。

画像をパソコンで見る／パソコンに保存する

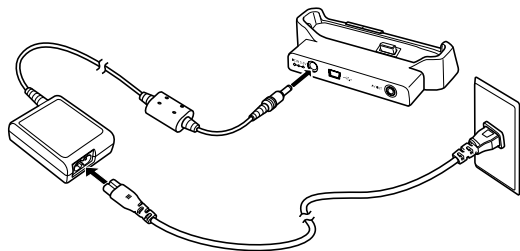
USBクレードルを介してカメラをパソコンに接続し、画像(静止画や動画などのファイル)をパソコンで見たり、パソコンに保存することができます。

重要

- Mac OS 8.6以前、またはMac OS Xの10.0ではご使用できません。Mac OS 9、X(10.1、10.2、10.3、10.4)のみで使用できます(OS標準のUSBドライバを使用)。

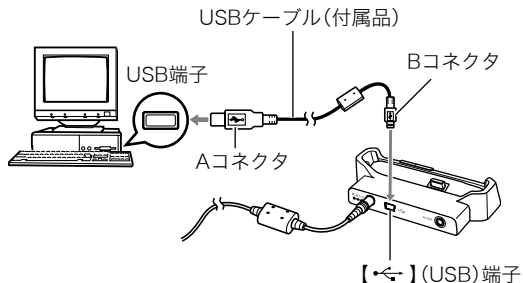
■ カメラとパソコンを接続する

1. 付属のACアダプターをUSBクレードルの【DC IN 5.3V】と家庭用コンセントに接続する



- ACアダプターを使用しないときは、十分に充電された電池を使用してください。

2. 付属のUSBケーブルで、USBクレードルとパソコンのUSB端子を接続する

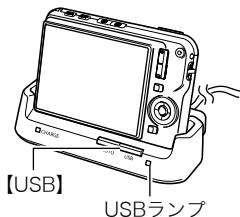


- USB端子の形状とケーブルの接続端子の形状を合わせて接続してください。
 - USBコネクタは奥まで確実に差し込んでください。正しく接続しないと、正常に動作しません。
3. カメラの【ON/OFF】を押して電源を入れ、【MENU】を押す
 - カメラは、まだUSBクレードルにセットしないでください。
 4. “設定”タブ→“USB”と選び、【▶】を押す
 5. 【▲】【▼】で“Mass Storage”を選び、【SET】を押す

6. カメラの【ON/OFF】を押して電源を切り、カメラをUSBクレードルの上にセットする

- カメラの電源を入れたまま、USBクレードルの上にセットしないでください。
- 内蔵メモリーの画像をパソコンに保存する場合は、カメラからメモリーカードを取り出した状態でUSBクレードルにセットしてください。

7. USBクレードルの【USB】を押す



カメラとパソコンを接続すると

USBモードになり、USBクレードルのUSBランプが緑色に点灯します。パソコンは、カメラ内のメモリーカードまたは内蔵メモリーを「ドライブ」として認識します。Mac OSのバージョンにより、表示されるアイコンが異なる場合があります。カメラのUSB設定を変更しない限り、次回からは手順3から5の操作は不要です。



重要

- 「カメラをUSBクレードルからはずす」(168ページ)の操作を行わずにケーブルを抜いたり、カメラをクレードルからはずさないでください。画像のデータが破壊される恐れがあります。

■ 2回目以降のパソコンとの接続

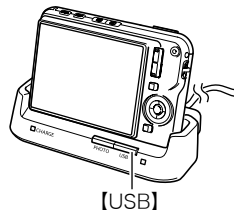
次にカメラとパソコンを接続するときは、以下のようになります(メニューからの設定が不要になります)。

1. カメラの【ON/OFF】を押して電源を切ってから、カメラをUSBクレードルの上にセットする

- カメラの電源を入れたまま、USBクレードルの上にセットしないでください。
- 内蔵メモリーの画像をパソコンに保存する場合は、カメラからメモリーカードを取り出した状態でUSBクレードルにセットしてください。

2. USBクレードルの【USB】を押す

USBモードになり、USBクレードルのUSBランプが緑色に点灯します。



■ カメラの画像をパソコンで見る

カメラとパソコンを接続した状態で、パソコンでカメラの画像を見ることができます。

- パソコンとの接続方法は「2回目以降のパソコンとの接続」(166ページ)をご覧ください。

1. 表示されたドライブをダブルクリックする
2. 「DCIM」フォルダをダブルクリックする
3. 見たい画像の入ったフォルダをダブルクリックする
4. 見たい画像ファイルをダブルクリックする
画像が表示されます。

重要

- パソコンのモニターに同一の画像を表示したまま放置しないでください。残像現象(画面焼け)の原因になります。

参考

- カメラ内で回転表示させた画像をパソコンで見た場合は、回転させる前の画像が表示されます。

■ 画像をパソコンに保存する

パソコンで画像を加工したりアルバムを作るには、画像をパソコン内に保存する必要があります。保存は、カメラをUSBケーブルを介してパソコンに接続した状態で行います。

- パソコンとの接続方法は「2回目以降のパソコンとの接続」(166ページ)をご覧ください。

1. 表示されたドライブをダブルクリックする
2. 「DCIM」フォルダを保存したいフォルダにドラッグアンドドロップする
「DCIM」フォルダがMacintosh内のフォルダにコピーされます。

- ドラッグアンドドロップとは、マウスのポインタ(矢印)が画像ファイルのアイコン上に重なった状態でマウスのボタンを押し、そのままマウスを移動(ドラッグ)させて、別の場所でマウスのボタンを離す(ドロップ)操作のことをいいます。

重要

- 内蔵メモリーやメモリーカード内の画像に対して、パソコンで修正・削除・移動・名前の変更などを行わないでください。画像管理データと整合性がとれず、カメラで再生できなくなったり、撮影枚数が極端に変わったりします。修正・削除・移動・名前の変更などはパソコンにコピーした画像で行ってください。
- 画面を見たり保存している途中でケーブルを抜いたり、カメラやクレードルの操作を行わないでください。データが破壊される恐れがあります。

■ カメラをUSBクレードルからはずす

1. 画面上のカメラのドライブをゴミ箱へドラッグアンドドロップする
2. USBクレードルの【USB】を押し、USBランプが消灯しているのを確認してから、カメラをUSBクレードルから取りはずす

パソコンに自動で画像を保存する／画像を管理する

Mac OS Xをお使いの場合は、OSにバンドルされているiPhotoを使って静止画像の管理ができます。

Mac OS 9をお使いの場合、パソコンに取り込んだ画像を管理するには、付属のCD-ROMに収録されているPhoto Loaderをパソコンにインストールします。Photo Loaderを使用すれば、パソコンに画像を自動で取り込んで、撮影年月日で整理ができ、カレンダー形式で表示することができます。

■ Photo Loaderをインストールする

インストールする前に、Photo Loaderの「はじめにお読みください」を必ずお読みください。インストールするために必要な条件や動作環境が書かれています。

1. 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする
2. CD-ROM内の“CD-ROMの使いかた”ファイルを開く
3. “ソフトウェアについて”をクリックする
4. インストールするソフトウェア名をクリックしてインストール方法を確認する
5. 画面の説明にしたがってインストールする

重要

- Photo Loaderのバージョンアップ、再インストールやパソコンを変更する場合で、以前使用していたライブラリ情報を継続させる方法については、「お読みください」ファイルをご覧になり、手順を確認してください。手順通りにインストールしないと、以前のライブラリ管理情報やカレンダー形式のHTMLファイルがPhotoLoaderで見ることができなくなるばかりか、取り込んだ画像ファイルが消失する恐れがあります。

動画を再生する

動画はMacintoshにすでにインストールされているQuickTimeで再生することができます。Macintoshに動画をコピーしてから、画像ファイルをダブルクリックして再生してください。

動画をQuickTimeで再生するには、付属のCD-ROMに収録されているCASIO AVI Importer componentをパソコンにインストールします。

CASIO AVI Importer componentをインストールすることで、High Quality Movie対応デジタルカメラで撮影したAVI形式(MPEG-4準拠)の動画データをMacintoshのOSにバンドルされているQuickTimeで再生することができます。

■ CASIO AVI Importer componentをインストールする

1. 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする
2. CD-ROM内の「Japanese」フォルダ内の「動画コンポーネント」フォルダを開く
そこに、“CASIO AVI Importer.component”ファイルがあります。
3. 起動ディスクにある「ライブラリ」フォルダをダブルクリックして開く
4. 「ライブラリ」フォルダの中の“QuickTime”をダブルクリックして開く
5. “CASIO AVI Importer.component”を「QuickTime」フォルダにドラッグアンドドロップする
“CASIO AVI Importer.component”が「QuickTime」フォルダにインストールされます。
 - 「QuickTime」フォルダの中に他のAVIコンポーネントがあると、動画が正しく再生されない場合があります。その場合は、他のAVIコンポーネントを「QuickTime」フォルダの外に待避させてください。
6. パソコンを再起動して、動画をQuickTimeで再生できることを確認する

重要

- 必ず動画データはパソコンに保存してから再生してください。ネットワーク上やメモリーカードなどにある動画データを再生しても、正しく再生できない場合があります。

■ **動画再生のご注意**

本機で撮影した動画をパソコンで再生する場合、以下の動作環境を推奨します。

OS : OS X 10.2.8以降
QuickTimeバージョン : QuickTime 6.5.2以降

重要

- 上記の動作環境は推奨の環境であり、動作を保証するものではありません。
- 上記動作環境のパソコンでも、設定状態やインストールされているソフトウェアによっては、正しく動作しない場合があります。

取扱説明書(PDFファイル)を読む

1. 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする
2. CD-ROM内の“CD-ROMの使いかた”ファイルを開く
3. “取扱説明書を読む”をクリックする
4. 読みたいソフトウェア名をクリックする
取扱説明書が表示されます。

重要

- 取扱説明書をお読みにするには、パソコンにAdobe ReaderまたはAdobe Acrobat Readerがインストールされている必要があります。インストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページよりAdobe Readerをダウンロードして、Adobe Readerをインストールしてください。

ユーザー登録をする

パソコンからインターネットを通してのみ、ユーザー登録をすることができます。「カシオデジタルカメラオフィシャルWebサイト」で登録を行ってください。

ユーザー登録アドレス <http://www.casio.jp/reg/dc/>

ユーザー登録で登録いただいた個人情報のお取り扱いに関しては、Webサイト上の「ご利用になる前に」に記載されていますので、ご確認ください。ユーザー登録はデジタルカメラ本体や付属ソフトのバージョンアップのご連絡その他情報発信を目的としています。付属ソフトウェアについては、ユーザー登録をしなくてもインストールや使用は可能です。

メモリーカードを直接パソコンに接続して画像を保存する

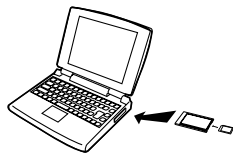
パソコンの機種によって接続方法が異なります。代表的な接続方法は次の通りです。接続後はUSBクレードル経由の接続時と同様な操作で画像の保存ができます。

■ メモリーカードスロットのある機種

メモリーカードを直接差し込みます。

■ PCカードスロットのある機種

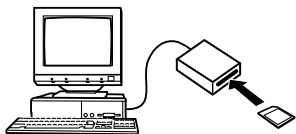
市販のPCカードアダプター(SDメモリーカード/SDHCメモリーカード/MMC/MMC*plus*用)を使用します。具体的な使用方法は、PCカードアダプターとパソコンに付属の取扱説明書を参照ください。



■ 前記以外の機種

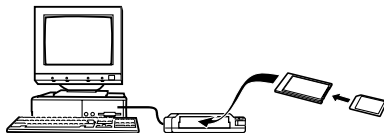
以下のどちらかの方法で接続します。

- 市販のSDメモリーカード／SDHCメモリーカード用リーダー／ライターを使用します。具体的な使用方法は、SDメモリーカード／SDHCメモリーカード用リーダー／ライターに付属の取扱説明書を参照ください。



- 市販のPCカード用リーダー／ライターと市販のPCカードアダ

プター(SDメモリーカード／SDHCメモリーカード／MMC/MMC*plus*用)を使用します。具体的な使用方法は、PCカード用リーダー／ライターとPCカードアダプターに付属の取扱説明書を参照ください。



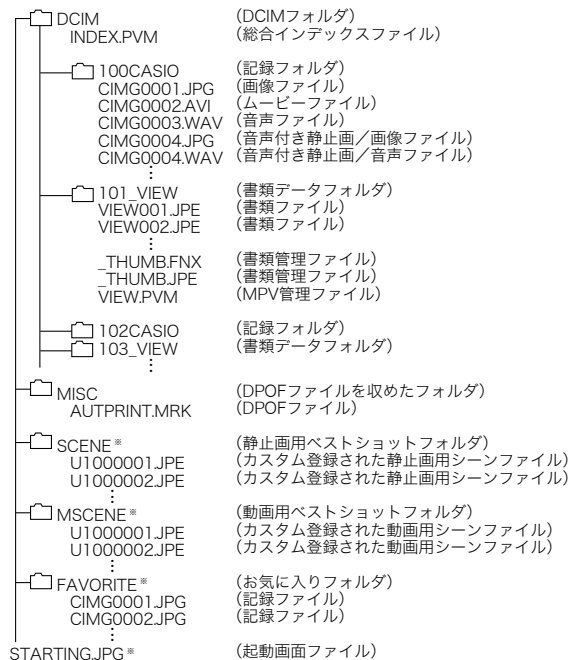
メモリー内のデータについて

本機で撮影された画像やその他のデータは、DCF (Design rule for Camera File system) 規格に準拠した方法でメモリーへ保存されます。

■ DCF規格について

DCF規格対応の機器(デジタルカメラやプリンターなど)の間で画像の互換性があります。画像ファイルのデータ形式やメモリー内のフォルダ構造に規定がありますので、本機で撮影した画像をDCF規格対応の他社のカメラで見たり、この規格対応の他社のプリンターで印刷したりすることができます。逆にDCF規格対応の他社のデジタルカメラの画像も本機で見ることができます。

■ メモリー内のフォルダ構造



※ 内蔵メモリー内にのみ作成されるフォルダです。

フォルダ/ファイルの内容

- DCIMフォルダ:
カメラで扱うファイルすべてを収めたフォルダです。
- 総合インデックスファイル:
書類データフォルダの管理ファイルです。
- 記録フォルダ:
カメラで記録したファイルを収めたフォルダです。
- 画像ファイル:
カメラで撮影した画像ファイルです。拡張子は「JPG」です。
- ムービーファイル:
カメラで撮影したムービーファイルです。拡張子は「AVI」です。
- 音声ファイル:
カメラで記録した音声ファイルです。拡張子は「WAV」です。
- 音声付き静止画/画像ファイル:
音声付き静止画の画像を記録したファイルです。拡張子は「JPG」です。
- 音声付き静止画/音声ファイル:
音声付き静止画の音声を記録したファイルです。拡張子は「WAV」です。
- 書類データフォルダ:
カメラに転送した書類データを収めたフォルダです。
- 書類ファイル:
カメラに転送した書類のファイルです。
- 書類管理ファイル:
カメラに転送した書類の管理ファイルです。

- MPV管理ファイル:
カメラに転送した書類の管理ファイルです。
- DPOFファイルを取めたフォルダ:
DPOFファイルなどを取めたフォルダです。
- 静止画用ベストショットフォルダ:
カスタム登録された静止画用シーンファイルを取めたフォルダです。
- カスタム登録された静止画用シーンファイル:
ベストショットモードの静止画撮影で使用されるファイルです。
- 動画用ベストショットフォルダ
カスタム登録された動画用シーンファイルを取めたフォルダです。
- カスタム登録された動画用シーンファイル
ベストショットモードの動画撮影で使用されるファイルです。
- お気に入りフォルダ:
お気に入りの画像ファイルを取めたフォルダです。320×240pixelsの画像として取められています。
- 起動画面ファイル:
起動画面を記録したファイルです。起動画面を設定した場合に作成されます。

■ このカメラで扱える画像ファイル

- 本機で撮影した画像ファイル
- DCF規格に対応している画像ファイル

DCF規格の画像ファイルでも、使用できない機能がある場合があります。また、本機以外で撮影された画像の場合、再生にかかる時間が長くなる場合があります。

■ パソコン上で内蔵メモリー/メモリーカードを扱うときのご注意

- メモリーの内容をパソコンのハードディスクやCD-R、MOディスクなどに保存する際は“DCIM”フォルダごと保存してください。その際“DCIM”フォルダの名前を年月日などに覚えておくと、あとで整理するときに便利です。ただし、パソコンのハードディスクなどに保存したファイルを再度メモリーに戻して本機で再生する場合は、フォルダ名をパソコン上で“DCIM”に戻してからご使用ください。本機では“DCIM”以外の名前前のフォルダは認識されません。“DCIM”フォルダ内の他のフォルダ名を変えた場合も同様です。元の名前に戻してから使用してください。
- フォルダやファイルをカメラで正しく認識させるためには、メモリー内のフォルダ構造が173ページのフォルダ構造の通りである必要があります。

書類データをカメラに転送する／カメラで見る(データキャリング)

パソコン上で見ることでできるさまざまなドキュメント、電子本、Webページなどの書類データを付属のソフトCASIO DATA TRANSPORTまたはT-Time 5.5.7 for CASIOを使ってカメラに転送し、見ることができます。

重要

- パソコンでプリンターを使って印刷することのできるデータであれば、大抵のデータをカメラに転送することができます。ただし、それらすべてを正常に表示できることを保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。
- データによっては、パソコンなど他の機器で表示した内容と異なって表示される場合があります。
- Windowsパソコンからカメラに電子本を転送するときは、T-Time 5.5.7 for CASIOを使用してください(176ページ)。
- Macintoshからカメラに電子本は転送できません。

参考

- T-Time 5.5.7 for CASIOは、株式会社ポイジャーの電子本ビューワーソフトです。このソフトを使って、電子本をカメラに転送することができます。付属のCD-ROMに収録されているT-Timeは、EX-S770用に適したサイズで書き出しができるようになっています。詳しい情報は、<http://www.voyager.co.jp/T-Time/>をご覧ください。

書類データをカメラに転送する

Windowsパソコンを利用する場合

パソコン上のさまざまな書類をカメラ上で見られるようにするには、付属のCD-ROMに収録されているCASIO DATA TRANSPORTをパソコンにインストールします。

■ CASIO DATA TRANSPORTをインストールする

1. パソコンを起動し、付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる
 - パソコンの設定によっては、自動的にメニュー画面が表示されない場合があります。その場合は、CD-ROMが割当てられているドライブを開き、MENU.exeをダブルクリックしてください。
2. “DATA TRANSPORT”の“お読みください”をクリックして、読む
 - インストールするために必要な条件や動作環境が書かれています。
3. “DATA TRANSPORT”の“インストール”をクリックする

4. 画面の指示にしたがって操作する

CASIO DATA TRANSPORTがインストールされます。

重要

- 電子本をカメラで読めるようにするには、パソコンにT-Time 5.5.7 for CASIOがインストールされている必要があります。インストールされていない場合は、“ソフトのインストール”でT-Time 5.5.7 for CASIOをインストールしてください。

■ 書類データを転送する

- あらかじめデジタルカメラをパソコンに接続しておく
 - カメラをパソコンに接続する前に、メモリーカードをカメラに入れておいてください。
 - パソコンとの接続方法は、148ページをご覧ください。
- パソコン上でカメラに転送したい書類ファイルを開く
- 書類を開いているアプリケーションのメニューで“ファイル(F)”→“印刷(P)”と選択して印刷画面を表示し、“名前(M):”の横のプルダウンボタンで“CASIO DATA TRANSPORT”を選択する



Windows XPの場合

4. [OK]ボタンをクリックする

データ登録(カスタマイズ)画面が表示されます。

5. データ登録内容(日付/ファイル名/アイコン)を確認し、[OK]ボタンをクリックする

JPEG形式に変換された書類データがカメラに転送されません。

- 必要に応じて日付/ファイル名の入力、アイコンの選択を行ってください。
- 転送を中止したいときは、[キャンセル]ボタンをクリックしてください。
- カメラに転送された書類データの縦横方向がパソコン上で表示したときと異なる場合は、印刷画面から[プロパティ(P)]ボタンをクリックし、“用紙方向”の縦横を切り替えたあと[OK]ボタンをクリックしてください。

Macintoshを利用する場合

パソコン上のさまざまな書類をカメラ上で見られるようにするには、付属のCD-ROMに収録されているCASIO DATA TRANSPORTをパソコンにインストールします。

■ CASIO DATA TRANSPORTをインストールする

インストールする前に、CASIO DATA TRANSPORTの「はじめにお読みください」を必ずお読みください。インストールするために必要な条件や動作環境が書かれています。

1. 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする
2. CD-ROM内の「Japanese」フォルダ内の「DATA TRANSPORT」フォルダを開く
3. “TRANSPORT_Installer”をダブルクリックする
4. 画面の説明にしたがってインストールする

重要

- Macintoshからカメラに電子本データは転送できません。

■ 書類データを転送する

1. あらかじめデジタルカメラをパソコンに接続しておく
 - カメラをパソコンに接続する前に、メモリーカードをカメラに入れておいてください。
 - パソコンとの接続方法は、165ページをご覧ください。
2. パソコン上でカメラに転送したい書類ファイルを開く
3. メニューバーから“ファイル”→“プリント”の順でクリックして、印刷画面を表示する



PDFボタン



4. 下段にある[PDFボタン]をクリックし、表示されたリストから“CASIO DATA TRANSPORT”をクリックして選ぶ
データ登録(カスタマイズ)画面が表示されます。
5. データ登録内容(日付/ファイル名/アイコン)を確認し、[OK]ボタンをクリックする
JPEG形式に変換された書類データがカメラに転送されます。
 - 必要に応じて日付/ファイル名の入力、アイコンの選択を行ってください。
 - 転送を中止したいときは、[キャンセル]ボタンをクリックしてください。

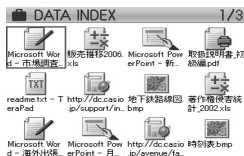
カメラに転送した書類データを見る

1. カメラを撮影モードまたは再生モードにする

2. [DATA]を押す

データモードになり、カメラに転送された書類データの一覧が表示されます。

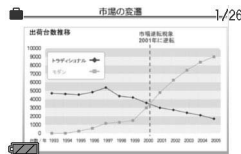
- 赤枠で囲まれたデータが現在選択されているデータです。
- ここで[DATA]を押すと、[DATA]を押す前の状態に戻ります。
- []を押すと撮影モードに、[]を押すと再生モードに戻ります。



3. [▲][▼][◀][▶]で枠を移動し、見たい書類データを選ぶ

- [▲][▼]を押していくと画面が切り替わり、別のデータ一覧が表示されます。

4. [SET]を押して、データのページを表示する



5. データのページを切り替える

- [◀][▶]を押していくと、データの前後のページを表示します。
- [▲]を押すと、データの先頭ページへジャンプします。

参考

- [SET]またはズームボタンを押すと、書類データの一覧表示とページ表示を切り替えることができます。
- 書類データのページを表示中に[DISP]を押すと、表示メニューが表示され、情報表示の状態を切り替えることができます。

重要

- メモリーカードに転送した書類データはプリントの対象になります。そのため、書類データが転送されたメモリーカードのすべての画像をプリントするように指定してお店や自宅でプリントすると、すべての書類データのすべてのページもプリントされてしまいますので、ご注意ください(140ページ)。

【DATA】を押した直後の書類データの表示方法を設定する

【DATA】を押した直後に常に書類データの一覧を表示するか、最後に見ていたページを表示するかを設定することができます。

1. 【MENU】を押す
2. “設定”タブ→“DATAボタン”と選び、【▶】を押す
3. 【▲】【▼】で表示方法を選び、【SET】を押す
リストを表示:常に書類データの一覧を表示します。
ページを表示:最後に見ていたデータの状態(ページ表示または一覧表示)で表示します。

カメラ内の書類データを消去する

書類データのページを消去する

データのページ表示状態から、書類データ内のページを、1ページずつ、またはすべてのページを1回の操作で消去できます。

■ 1ページずつ消去する

1. データのページを表示し、【▼】(👇📄)を押す
2. 【◀】【▶】で消去したいページを選ぶ
3. 【▲】【▼】で“1ページ消去”を選び、【SET】を押す
4. 続けて別のページを消去する場合は手順2、手順3を繰り返す
 - 消去をやめるには、【MENU】を押してください。

■ すべてのページを消去する

1. データのページを表示し、【▼】(👇📄)を押す
2. 【▲】【▼】で“全ページ消去”を選び、【SET】を押す
3. 【▲】【▼】で“はい”を選ぶ
 - 消去を中止するときは、“いいえ”を選んでください。
4. 【SET】を押す

書類フォルダのデータを消去する

データの一覧表示状態から、書類データそのものを、1データずつ、または一括して消去できます。

■ 1データずつ消去する

1. データの一覧を表示し、【▲】【▼】【◀】【▶】で消去したいデータを選ぶ
2. 【MENU】を押す
3. 【▲】【▼】で“1書類消去”を選び、【SET】を押す
4. 【▲】【▼】で“はい”を選ぶ
 - 消去を中止するときは、“いいえ”を選んでください。
5. 【SET】を押す

■ すべてのデータを消去する

1. データの一覧を表示し、【MENU】を押す
2. 【▲】【▼】で“全書類消去”を選び、【SET】を押す
3. 【▲】【▼】で“はい”を選ぶ
 - 消去を中止するときは、“いいえ”を選んでください。

4. 【SET】を押す

- すべてのデータが消去され、“現在、データがありません
データモードを終了します”と表示されます。

参考

- フォーマット操作をすると、書類フォルダ内のすべてのデータが消去されます(33、134ページ)。

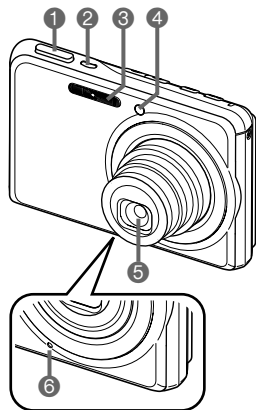
付録

各部の名称

各部の説明が記載されている主なページを()内に示します。

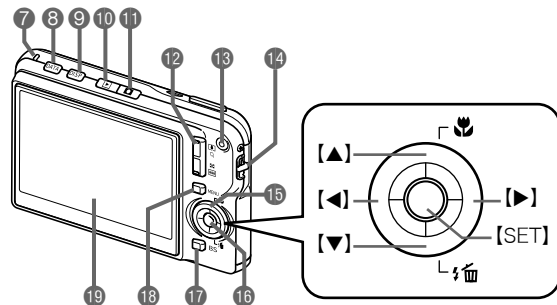
■ カメラ本体

前面



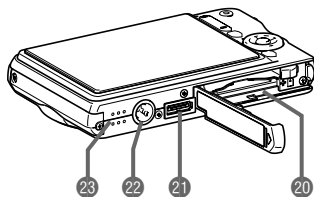
- ① シャッター(45ページ)
- ② 【ON/OFF】(電源)
(29ページ)
- ③ フラッシュ(52ページ)
- ④ AF補助光/
セルフタイマーランプ
(44, 48, 56, 190ページ)
- ⑤ レンズ
- ⑥ マイク(62, 118ページ)

後面



- ⑦ 動作確認用ランプ
(29, 45, 190ページ)
- ⑧ 【DATA】ボタン
(179ページ)
- ⑨ 【DISP】ボタン(36ページ)
- ⑩ 【▶】(再生)ボタン
(29, 133ページ)
- ⑪ 【📷】(撮影)ボタン
(29, 133ページ)
- ⑫ ズームボタン
(49, 104, 105ページ)
- ⑬ 【●】(ムービー)ボタン
(61ページ)
- ⑭ ストラップ取り付け部
(2ページ)
- ⑮ コントロールボタン
(【▲】【▼】【◀】【▶】)
- ⑯ 【SET】ボタン
- ⑰ 【BS】ボタン(67ページ)
- ⑱ 【MENU】ボタン
(35ページ)
- ⑲ 液晶モニター
(36ページ)

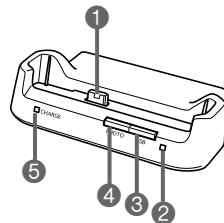
底面



- ⑳ 電池／メモリーカード挿入部(25, 32ページ)
- ㉑ クレードル接続端子(26ページ)
- ㉒ 三脚穴
三脚に取り付けるときに使用します。
- ㉓ スピーカー(95ページ)

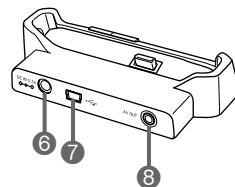
■ USBクレードル

前面



- ① カメラ接続端子
(26ページ)
- ② USBランプ
(149, 166, 192ページ)
- ③ 【USB】ボタン
(139, 149, 166ページ)
- ④ 【PHOTO】ボタン
(100, 101ページ)
- ⑤ 【CHARGE】ランプ
(26, 192ページ)

後面



- ⑥ 【DC IN 5.3V】(外部電源)端子(26ページ)
- ⑦ 【←】(USB)端子
(138, 149, 165ページ)
- ⑧ 【AV OUT】(AV出力)端子
(101ページ)

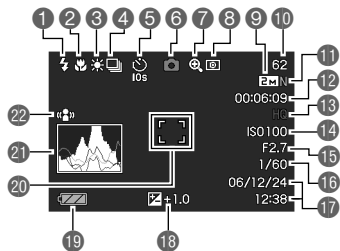
液晶モニターの表示内容

液晶モニターには、さまざまな情報が、アイコンや数字などで表示されます

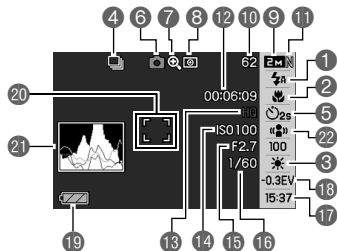
- 下の画面は、情報が表示される位置を示すためのものです。液晶モニターが実際にこの画面のようになることはありません。

■ 撮影モード時

ノーマル



操作パネル

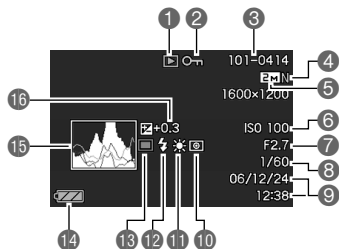


- | | |
|-------------------------|----------------------------|
| ① フラッシュモード
(52ページ) | ⑪ 静止画の画質(47ページ) |
| ② フォーカス方式(77ページ) | ⑫ 動画の残り撮影時間
(62ページ) |
| ③ ホワイトバランス設定
(85ページ) | ⑬ 動画の画質(61ページ) |
| ④ 連写モード(57ページ) | ⑭ ISO感度(87ページ) |
| ⑤ セルフタイマーモード
(56ページ) | ⑮ 絞り値(45ページ) |
| ⑥ 撮影の種類 | ⑯ シャッター速度(45ページ) |
| ⑦ デジタルズーム表示
(50ページ) | ⑰ 日付/時刻(131ページ) |
| ⑧ 測光方式(88ページ) | ⑱ 露出補正(83ページ) |
| ⑨ 静止画の画像サイズ
(46ページ) | ⑲ 電池残量(27ページ) |
| ⑩ 静止画撮影可能枚数
(200ページ) | ⑳ フォーカスフレーム
(45, 80ページ) |
| | ㉑ ヒストグラム(90ページ) |
| | ㉒ プレ軽減(71ページ) |

★ 重要

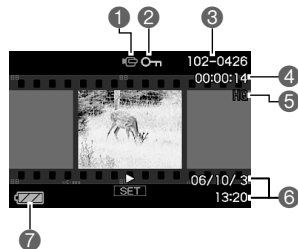
- 絞り値、シャッター速度、ISO感度は、AE(自動露出)が適正でない場合、シャッターを半押ししたとき、オレンジ色で表示されます。

■ 静止画再生モード時



- ① ファイル形態 (96ページ)
- ② プロテクト表示 (122ページ)
- ③ フォルダ名/ファイル名 (121ページ)
- ④ 静止画の画質 (47ページ)
- ⑤ 静止画の画像サイズ (46ページ)
- ⑥ ISO感度 (87ページ)
- ⑦ 絞り値 (45ページ)
- ⑧ シャッター速度 (45ページ)
- ⑨ 日付/時刻 (131ページ)
- ⑩ 測光方式 (88ページ)
- ⑪ ホワイトバランス設定 (85ページ)
- ⑫ フラッシュモード (52ページ)
- ⑬ 撮影の種類
- ⑭ 電池残量表示 (27ページ)
- ⑮ ヒストグラム (90ページ)
- ⑯ 露出補正 (83ページ)

■ 動画再生モード時



- ① ファイル形態 (97ページ)
- ② プロテクト表示 (122ページ)
- ③ フォルダ名/ファイル名 (121ページ)
- ④ 動画の撮影時間 (97ページ)
- ⑤ 動画の画質 (61ページ)
- ⑥ 日付/時刻 (131ページ)
- ⑦ 電池残量表示 (27ページ)

アイコンガイドについて

撮影モードのとき、液晶モニター上でアイコンの意味を確認しながら操作できます。アイコンガイドを非表示にすることもできます(94ページ)。

- アイコンの意味を確認できる機能は、次の通りです。
撮影モード、フォーカス方式、フラッシュ、測光方式、ホワイトバランス、セルフタイマー、EVシフト
- 測光方式、ホワイトバランス、セルフタイマー、EVシフトのアイコンの意味は、キーカスタマイズ機能(92ページ)を“測光方式”、“ホワイトバランス”、“セルフタイマー”、“EVシフト”に設定したときだけ表示されます。



メニュー一覧表

【MENU】を押したときに表示されるメニューの一覧表です。撮影モード、再生モードでそれぞれ項目が異なります。

- 「*」この印のある項目は初期値です。

撮影モード

■ “撮影設定”タブ

連写	通常連写／高速連写／フラッシュ連写／ズーム連写／切*
セルフタイマー	10秒／2秒／×3／切*
ブレ軽減	オート／切*
AFエリア	 スポット* /  マルチ
AF補助光	入*／切
デジタルズーム	入*／切
左右キー設定	測光方式／EVシフト／ホワイトバランス／ISO感度／セルフタイマー／切*
クイックシャッター	入*／切
音声付静止画	入／切*
グリッド表示	入／切*
撮影レビュー	入*／切

アイコンガイド	入*/切
モードメモリ	BS ベストショット:入/切* フラッシュ:入*/切 フォーカス方式:入/切* ホワイトバランス:入/切* ISO感度:入/切* AFエリア:入*/切 測光方式:入/切* セルフタイマー:入/切* フラッシュ光量:入/切* デジタルズーム:入*/切 MF位置:入/切* ズーム位置:入/切*

■ “画質設定”タブ

サイズ	7M(3072×2304)* / 3:2(3072×2048) / 16:9(3072×1728) / 5M(2560×1920) / 3M(2048×1536) / 2M(1600×1200) / VGA(640×480)
画質(静止画)	高精細-F / 標準-N* / エコノミー-E
画質(動画)	HQ* / HQワイド / Normal / Normalワイド / LP
EV シフト	-2.0 / -1.7 / -1.3 / -1.0 / -0.7 / -0.3 / 0.0* / +0.3 / +0.7 / +1.0 / +1.3 / +1.7 / +2.0

ホワイト バランス	AWB オート* / 太陽光 / 曇天 / 日陰 / N屋白色 / D屋光色 / 電球 / マニュアル
ISO感度	オート* / ISO 50 / ISO 100 / ISO 200 / ISO 400
測光方式	マルチ* / 中央重点 / スポット
フィルター	切* / 白黒 / セピア / 赤 / 緑 / 青 / 黄 / ピンク / 紫
シャープネス	+2 / +1 / 0* / -1 / -2
彩度	+2 / +1 / 0* / -1 / -2
コントラスト	+2 / +1 / 0* / -1 / -2
フラッシュ光量	+2 / +1 / 0* / -1 / -2
フラッシュ アシスト	オート* / 切





■ “設定”タブ

操作音	起動音* / ハーフシャッター / シャッター / 操作音 / 操作音 / 再生音
起動画面	入(画像選択) / 切*
ファイルNo.	メモリする* / メモリしない

ワールドタイム	自宅*/訪問先
	ホームタイムの詳細設定 (都市名、サマータイムなど)
	ワールドタイムの詳細設定 (都市名、サマータイムなど)
タイム スタンプ	日付/日付+時刻/切*
日時設定	日付と時刻の設定
表示スタイル	年/月/日/日/月/年/月/日/年
Language	画面のメッセージ言語の変更
DATAボタン	ページを表示/リストを表示
スリープ	30秒/1分*/2分/切
オートパワー オフ	2分*/5分
REC/PLAY	パワーオン*/パワーオン/オフ/切
USB	Mass Storage*/PTP (PictBridge)
ビデオ出力	NTSC 4:3*/NTSC 16:9/PAL 4:3/ PAL 16:9
フォーマット	フォーマット/キャンセル*
リセット	リセット/キャンセル*

再生モード

■ “再生機能”タブ

スライドショー	開始*/表示画像/時間/間隔/ エフェクト/キャンセル
モーション プリント	9コマで作成*/1コマで作成/キャンセル
 手ブレ補正	入/切*
ムービーカット	 (前)カット/  (中)カット/  (後)カット/キャンセル*
アングル補正	—
退色補正	—
カレンダー表示	—
お気に入り	表示*/登録/キャンセル
プリント設定 (DPOF)	選択画像*/全画像/キャンセル
プロテクト	オン*/全ファイル オン/キャンセル
日時編集	—
回転表示	回転*/キャンセル
リサイズ	5M(2560×1920)/3M(2048×1536)*/ VGA(640×480)/キャンセル
トリミング	—

アフレコ	—
コピー	内蔵→カード*/カード→内蔵/キャンセル

■ “設定”タブ

- 再生モードの“設定”タブの内容は、撮影モードの“設定”タブと同じです。

表示メニュー一覧表

【DISP】を押したときに表示される表示メニューの一覧表です。主に画面表示に関する設定ができます。撮影モード、再生モードでそれぞれ項目が異なります。

- 「*」この印のある項目は初期値です。

撮影モード

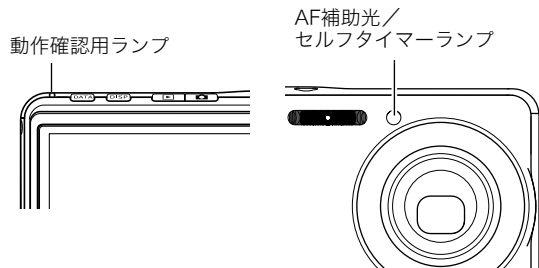
レイアウト	操作パネル*/ノーマル
情報	情報表示あり*/ヒストグラム付/切
明るさ	オート*/+2/+1/0/-1
画質	ダイナミック*/鮮やか/リアル/ ナイトモード/パワーセーブ

再生モード

レイアウト	ノーマル/ワイド*
情報	撮影モードの設定と共通になります。
明るさ	撮影モードの設定と共通になります。
画質	撮影モードの設定と共通になります。

ランプの状態と表示内容

カメラ本体には動作確認用ランプとAF補助光／セルフタイマーランプの2つのランプがあります。これらのランプは、カメラの動作内容によって、点灯したり点滅したりします。



※ ランプの点滅間隔は3種類あります。点滅1では1秒間に1回、点滅2では1秒間に2回、点滅3では1秒間に4回点滅します。

撮影モード時

動作確認用ランプ			AF補助光／セルフタイマーランプ	内容
緑	赤	オレンジ	赤	
点灯				起動中(電源オン時、撮影可)
		点滅3		フラッシュ充電中
	点灯			フラッシュ充電完了
点灯				オートフォーカス合焦
点滅3				オートフォーカス合焦不可
点灯				LCDオフ/スリープ中
点滅2				撮影記録中
点滅1				ムービー取り込み中/画像処理中
			点滅1	セルフタイマーカウントダウン10~3秒前
			点滅2	セルフタイマーカウントダウン3~0秒前
	点滅1			フラッシュ充電不可
	点滅2			メモリーカード異常/メモリーカード未フォーマット/カスタム登録不可
	点灯			メモリーカードロック/フォルダ作成不可/メモリーフル/書き込みエラー

動作確認用ランプ			AF補助光/ セルフタイ マーランプ	内容
緑	赤	オレンジ	赤	
	点滅3			電池交換警告
点滅3				フォーマット中
点滅3				終了中(電源オフ時)

重要

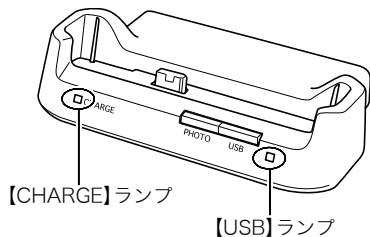
- 動作確認用ランプが緑色に点滅中にメモリーカードを取り出すことは絶対におやめください。撮影された画像がメモリーカードに記録されずに消えてしまいます。

再生モード時

動作確認用ランプ			AF補助光/ セルフタイ マーランプ	内容
緑	赤	オレンジ	赤	
点灯				起動中(電源オン時、撮影可)
点滅3				消去実行中/DPOF実行中/ プロテクト実行中/コピー実 行中/フォーマット中/リサ イズ処理中/トリミング処理 中/アフレコ処理中/アング ル補正中/退色補正中/モー ションプリント処理中/ムー ビーカット処理中/終了中(電 源オフ時)
	点滅2			メモリーカード異常/メモ リーカード未フォーマット
	点灯			メモリーカードロック/フォ ルダ作成不可/メモリーフル
	点滅3			電池交換警告

USBクレードルのランプ


USBクレードルには【CHARGE】と【USB】の2つのランプがあります。これらのランプは、USBクレードルの動作内容によって、点灯したり点滅したりします。











【CHARGE】ランプ		【USB】ランプ		内容
色	状態	色	状態	
赤	点灯			充電中
緑	点灯			充電終了
オレンジ	点灯			充電待機中
赤	点滅			充電エラー
		緑	点灯	USB接続状態
		緑	点滅	メモリアクセス中

故障かな？と思ったら

現象と対処方法

現象	考えられる原因	対処
電源について		
電源が入らない。	1) 電池が正しい向きに入っていない。 2) 電池が消耗している。	1) 電池を正しい向きに入れてください(25ページ)。 2) 電池を充電してください(25ページ)。それでもすぐに電池が消耗するときは電池の寿命です。別売の当社のリチウムイオン充電電池(NP-20)をお買い求めください。
電源が勝手に切れた。	1) オートパワーオフが働いた(30ページ)。 2) 電池が消耗している。	1) 再度電源を入れ直してください。 2) 電池を充電してください(25ページ)。
撮影について		
シャッターを押しても撮影できない。	1) 再生モードになっている。 2) フラッシュの充電中である。 3) “メモリがいっぱいです”と表示されている。	1)  (撮影)を押して撮影モードにしてください。 2) フラッシュの充電が終わるまで待ってください。 3) パソコンに画像を転送後、不要な画像を消去するか、別のメモリーカードをセットしてください。
オートフォーカスなのにピントが合わない。	1) レンズが汚れている。 2) 被写体がフォーカスフレームの中央にない。 3) ピントの合いにくい被写体である(49ページ)。 4) 手ブレしている。 5) シャッターを半押しせず、クイックシャッターで撮っている。	1) レンズの汚れを取ってください。 2) 被写体をフォーカスフレームの中央に合わせてください。 3) マニュアルフォーカスモードに切り替えて手動でピントを合わせてください(82ページ)。 4) 三脚を使用してください。 5) シャッターの半押しを確実に行ってピントを合わせてください。
撮影した画像の被写体がボケている。	ピントが合っていない。	ピントを合わせたい被写体にフォーカスフレームを合わせて撮影してください。

現象	考えられる原因	対処
フラッシュが発光しない。	<ol style="list-style-type: none"> 1) フラッシュの発光方法が“” (発光禁止) になっている。 2) 電池が消耗している。 3) ベストショットモードでフラッシュが“” (発光禁止) のシーンを選んでいる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1) フラッシュの発光方法を他の方法に切り替えてください(52ページ)。 2) 電池を充電してください(25ページ)。 3) 必要に応じて、フラッシュの発光方法を切り替えるか(52ページ)、撮影したいシーンを選び直して(67ページ)ください。
セルフタイマーでの撮影の途中で電源が切れた。	電池が消耗している。	電池を充電してください(25ページ)。
液晶モニターに表示される画像のピントがあまい。	<ol style="list-style-type: none"> 1) マニュアルフォーカスモードでピント合わせがずれている。 2) 被写体が風景や人物なのに、“” (マクロモード) になっている。 3) 接写しているのに、オートフォーカスモードや“” (無限遠モード) になっている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1) ピントを合わせてください(82ページ)。 2) 風景や人物を撮影する場合は、オートフォーカスモードにしてください。 3) 接写撮影をする場合は“” (マクロモード) にしてください。
撮影したのに画像が保存されていない	<ol style="list-style-type: none"> 1) 記録が終了する前に電池切れになった。 2) 記録が終了する前にメモリーカードを抜いた。 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 電池残量表示が“” になったら、速やかに電池を充電してください(25ページ)。 2) 記録が終了する前にメモリーカードを抜かないください。
風景が明るいのに人物の顔が暗くなってしまった。	人物が光量不足です。	<ul style="list-style-type: none"> ● フラッシュを“” (強制発光) にしてください(日中シンクロ撮影)(52ページ)。 ● EVシフトを+側に調整してください(83ページ)。
海岸やスキー場で撮影すると被写体が暗くなる。	海岸や雪面からの強い光の反射に露出が合っているため、露出不足になっています。	<ul style="list-style-type: none"> ● フラッシュを“” (強制発光) にしてください(日中シンクロ撮影)(52ページ)。 ● EVシフトを+側に調整してください(83ページ)。
デジタルズーム(HDズーム含む)が効かない。ズームバーが3.0倍までしか表示されない。	<ol style="list-style-type: none"> 1) デジタルズームの設定が“切”になっている。 2) タイムスタンプを使用していると、デジタルズームが使用できません。 	<ol style="list-style-type: none"> 1) デジタルズームの設定を“入”にする(51ページ)。 2) タイムスタンプの設定を“切”にする(90ページ)。

現象	考えられる原因	対処
動画について		
画面に縦線が入る。	極端に明るい被写体を撮影すると、液晶モニター上の画像に、縦に尾を引いたような光の帯が表示される場合があります(スミア現象)。	これはCCD特有の現象で、故障ではありません。なお、この帯は静止画には記録されませんが、動画にはそのまま記録されますので、ご注意ください。
画像がぼける。	撮影範囲外ではピントが合わず、ぼけた画像になります。	撮影範囲内で撮影してください。
画像にノイズが入る。	被写体が暗いとカメラの感度が自動的に上がるため、ノイズが発生する場合があります。	ライトなどを使用して明るくして撮影してください。
再生について		
再生した画像の色が撮影時に液晶モニターで見た色と違う。	太陽光など光源からの直接光がレンズに当たっている。	直接光がレンズに当たらないようにしてください。
画像が表示されない。	DCF規格に準拠していない他のデジタルカメラで撮影したメモリーカードを使用している。	DCF規格に準拠していない他のデジタルカメラで撮影したメモリーカードは、ファイル管理形式が異なるため再生できません。
すべてのボタンやスイッチが働かない。	他の周辺機器との接続中に静電気や衝撃等により、回路内部に障害が発生した。	電池をいったん取り出し、入れ直してから再度操作してみてください。
液晶モニターに何も表示されない。	USB通信中である。	内蔵メモリー/メモリーカードにパソコンからのアクセスがないことを確認し、USBケーブルを抜いてください。

現象	考えられる原因	対処
その他		
パソコンにUSB接続しても画像が取り込めない。	1) カメラがUSBクレードルに確実にセットされていない。 2) USBケーブルが確実に接続されていない。 3) USBドライバがインストールされていない。 4) カメラの電源が入っていない。	1) カメラとUSBクレードルの接合部を確認して、確実にセットしてください。 2) コネクタ端子部を確認して、確実に接続してください。 3) USBドライバをインストールしてください(147ページ)。 4) USBクレードルの【USB】を押してください。
カメラの電源を入れると、言語設定画面が表示される。	1) 言語設定、自宅設定、表示スタイル設定、日時設定などが設定されていない。 2) カメラ内部のメモリー管理エリアが壊れている。	1) 各設定を確実に行ってください(10、129ページ)。 2) リセット操作によりカメラの設定内容を初期値に戻してください(95ページ)。その後、各設定を確実に行ってください。再度カメラの電源を入れたときに言語設定画面が表示されなければ、カメラ内部のメモリー管理エリアが修復されました。 もしも再度電源を入れても言語設定画面が表示される場合は、お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口にお問い合わせください(211ページ)。

USBドライバを正しくインストールできない場合は

Windows 98SE/98でUSBドライバをインストールしようとしたが、正しくインストールできない場合は、次のような原因が考えられます。

■ 考えられる原因

- 1) Windows 98SE/98を使用しているパソコンで、付属のCD-ROM(カシオデジタルカメラアプリケーションソフトウェア)からUSBドライバをインストールする前にUSBクレードルを介してカメラを接続したことなどにより、別のドライバをインストールしてしまった。
- 2) 他の原因で正しくUSBドライバがインストールできなかった。

■ 対処方法

パソコンとデジタルカメラをUSB接続して、「マイコンピュータ」を開いても「リムーバブルディスク」が表示されない場合は、以下の手順で「不明なデバイス」を削除してから再インストールしてください。

- ① パソコンとカメラをUSBクレードルを介して接続する
- ② カメラの電源を入れる
- ③ スタートメニューから「設定」→「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」タブを選択し、「種類別に表示」を選択して一覧から「不明なデバイス」を探し削除する
- ④ 「不明なデバイス」を削除したらカメラの電源を切り、USBケーブルを抜く

- ⑤ パソコンを再起動し、147ページの操作にしたがって付属のCD-ROM(カシオデジタルカメラアプリケーションソフトウェア)からUSBドライバを再インストールする

★ 重要

- 詳しい情報につきましては、付属のCD-ROM(カシオデジタルカメラアプリケーションソフトウェア)に収録されている「USB driver Type B」の「お読みください」をお読みいただくか、カシオデジタルカメラオフィシャルWebサイト(<http://dc.casio.jp/>)をご覧ください。

画面に表示されるメッセージ

圧縮に失敗しました	画像データ記録中に圧縮不可能状態のときに表示されます。撮影し直してください。
インクを補充してください	プリント時に、プリンタのインクが減っている、またはインクが切れている場合に表示されます。
お気に入りのファイルがありません	お気に入りフォルダにファイルが登録されていないときに表示されます。

カードが異常です	<p>メモリーカードに異常が発生したときに表示されます。電源を切って、メモリーカードを差し直してください。再度電源を入れても同じメッセージが表示される場合は、フォーマットしてください(33ページ)。</p> <p>重要</p> <ul style="list-style-type: none"> フォーマットを行うとメモリーカード内のすべての内容(ファイル)が消えてしまいます。フォーマットを行う前にパソコン等を利用して、メモリーカード内の正常なファイルを保存してください。
カードがフォーマットされていません	メモリーカードがフォーマットされていないときに表示されます。メモリーカードをフォーマットしてください(33ページ)。
カードがロックされています	SDメモリーカードまたはSDHCメモリーカードに付いているLOCKスイッチがロックされている状態です。この状態では、記録、消去などファイルを操作することができません。

この機能は使用できません	カメラにメモリーカードを入れない状態で、内蔵メモリーからメモリーカードへファイルをコピーしようとしたときに表示されます(124ページ)。
この画面は補正できませんでした	補正が実行できなかった場合に表示されます。補正せずに画像が保存されます(73ページ)。
このファイルではこの機能は使用できません	各種機能が実行できなかった場合に表示されます。
このファイルは再生できません	ファイルが壊れているか、本機で表示できないファイルを表示しようとしています。
これ以上登録できません	ベストショットモードで「SCENE」フォルダの中にファイルが999シーンある状態でカスタム登録しようとした場合に表示されます。または、9999のお気に入りのファイルがすでにある状態で、さらにお気に入りのファイルを登録しようとした場合に表示されます(69、123ページ)。
設定したファイルが見つかりません	スライドショーの“表示画面”で設定した画像が見つからないときに表示されます。もう一度設定し直してください(99ページ)。

接続エラー	<ul style="list-style-type: none"> プリンタ接続時に、カメラのUSB設定がプリンタのUSB接続方式と合っていない場合に表示されます(137ページ)。 パソコン接続時に、USBドライバがインストールされていない場合に表示されます(147ページ)。
電池容量が無くなりました	電池がなくなったときに表示されます。
電池容量が無くなりました ファイルが保存されませんでした	電池がなくなったため、撮影した画像ファイルが保存されませんでした。
登録可能な画像がありません	ベストショットモードで登録できる画像がないときに表示されます。
ファイルがありません	まだ何も記録していない状態、または記録内容をすべて消去して本機にファイルが一つもない状態です。
フォルダが作成できません	999番のフォルダの中に9999番のファイルが登録されている状態で、撮影しようとしたときに表示されます。撮影を続けるには、不要なファイルを消去する必要があります(126ページ)。

プリントする画像がありません DPOF設定してください	プリントする画像が指定されていないときに表示されます。DPOFの設定を行ってください(139ページ)。
プリントエラー	プリント中のエラー時に表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> プリンタ電源オフ、 プリンタ本体のエラー、など
メモリがいっぱいです	撮影可能枚数を使い切りました。撮影したい場合は、不要なファイルを消去する必要があります(126ページ)。
もう一度、電源を入れ直してください	レンズに障害物が当たると、このメッセージが表示され、電源が切れます。障害物がないことを確認して、再度電源を入れてください。
用紙を補充してください	プリント時に、プリンタの用紙が切れている場合に表示されます。
レンズエラー	レンズが予期せぬ動作をしたとき、このメッセージが表示され、電源が切れます。再度電源を入れても同じメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店または、カシオテクノ修理相談窓口にお問い合わせください(211ページ)。
SYSTEM ERROR	カメラのシステムが壊れていますので、お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口にお問い合わせください。

主な仕様／別売品

主な仕様

品名.....デジタルカメラ
機種名.....EX-S770

■ カメラ機能

記録画像ファイル

フォーマット.....静止画：JPEG (Exif Ver.2.2)、DCF (Design rule for Camera File system) 1.0
準拠、DPOF対応

動画：AVI形式、MPEG-4準拠

音声：WAV

記録媒体.....内蔵メモリー6.0MB

SDHCメモリーカード (SDHC Memory Card)

SDメモリーカード (SD Memory Card)

マルチメディアカード (MMC)

マルチメディアカードプラス (MMC*plus*)

記憶容量

- 静止画

画像サイズ (pixels)	画質	画像ファイルサイズ	内蔵メモリー 6.0MB	SDメモリーカード ※256MB
7M (3072×2304)	高精細-F	約4.32MB	約1枚	約55枚
	標準-N	約2.1MB	約2枚	約110枚
	エコノミー-E	約1.44MB	約3枚	約158枚
3:2 (3072×2048)	高精細-F	約3.84MB	約1枚	約61枚
	標準-N	約2.0MB	約2枚	約116枚
	エコノミー-E	約1.28MB	約4枚	約176枚
16:9 (3072×1728)	高精細-F	約3.24MB	約1枚	約73枚
	標準-N	約1.9MB	約2枚	約121枚
	エコノミー-E	約1.08MB	約5枚	約206枚
5M (2560×1920)	高精細-F	約3.0MB	約1枚	約78枚
	標準-N	約1.8MB	約3枚	約128枚
	エコノミー-E	約1.0MB	約5枚	約221枚
3M (2048×1536)	高精細-F	約1.92MB	約2枚	約121枚
	標準-N	約1.28MB	約4枚	約180枚
	エコノミー-E	約640KB	約8枚	約348枚
2M (1600×1200)	高精細-F	約1.17MB	約4枚	約196枚
	標準-N	約780KB	約7枚	約286枚
	エコノミー-E	約390KB	約12枚	約530枚
VGA (640×480) (VGA)	高精細-F	約360KB	約15枚	約625枚
	標準-N	約240KB	約22枚	約937枚
	エコノミー-E	約120KB	約40枚	約1739枚

● 動画

画質 (pixels)	1ファイル 最長記録時間	転送レート (フレーム/秒)	内蔵メモリー 6.0MB	SDメモリー カード ※256MB
HQ 640×480	メモリーの 許す限り	約4.0 メガビット/秒 (30フレーム/秒)	約8秒	約8分17秒
HQワイド 704×384	メモリーの 許す限り	約4.0 メガビット/秒 (30フレーム/秒)	約8秒	約8分17秒
Normal 640×480	メモリーの 許す限り	約2.1 メガビット/秒 (30フレーム/秒)	約15秒	約15分44秒
Normalワイド 704×384	メモリーの 許す限り	約2.1 メガビット/秒 (30フレーム/秒)	約15秒	約15分44秒
LP 320×240	メモリーの 許す限り	約745 キロビット/秒 (15フレーム/秒)	約42秒	約43分54秒

※記録枚数は、撮影できる枚数の目安です。

※松下電器産業(株)製の場合です。使用するメモリーカードによって撮影枚数は異なる場合があります。

※容量の異なるメモリーカードをご使用になる場合は、おおむねその容量に比例した枚数が撮影できます。

消去 1ファイル単位、全ファイル一括消去可能
(メモリープロテクト機能付き)

有効画素数 720万画素

撮像素子 1/2.5型正方形画素原色CCD
(総画素数:741万画素)

レンズ/焦点距離 F2.7-5.2/f=6.2~18.6mm
(35mmフィルム換算38~114mm相当)
非球面レンズを含む5群6枚

ズーム 光学ズーム3倍/
デジタルズーム4倍
(画像サイズ:7M(3072×2304 pixels)時)
(光学ズーム併用12倍)

焦点調節 コントラスト検出方式オートフォーカス
フォーカスモード:

オートフォーカス/マクロモード/
パンフォーカス/無限遠モード/
マニュアルフォーカス選択可能
AFエリア:

スポット/マルチ選択可能、AF補助光付き

撮影可能距離

(レンズ表面より) オートフォーカスモード:約40cm~∞
マクロモード:約15cm~約50cm
無限遠モード:∞

マニュアルフォーカスモード:約15cm~∞

※ 光学ズームにより、範囲は変化します。

露出制御 測光方式: 撮像素子によるマルチパターン測
光/中央重点測光/スポット測光

制御方式: プログラムAE

露出補正: -2EV~+2EV(1/3EV単位)

シャッター CCD電子シャッター／メカシャッター併用
静止画(オート): 1/2~1/2000秒
静止画(夜景): 4~1/2000秒
静止画(花火): 2秒固定

絞り値 F2.7/4.3自動切替式
※ 光学ズームにより、絞り値は変化します。

ホワイトバランス ... オート／固定(6モード)／マニュアル

感度設定 静止画: オート/ISO 50/ISO 100/
ISO 200/ISO 400
※ ブレ軽減／高感度撮影では、最大ISO800
となります。

動画: オート

セルフタイマー 作動時間約10秒、2秒、トリプルセルフタイマー

内蔵フラッシュ 発光モード: フラッシュオート、発光禁止、
強制発光、ソフト発光、赤目軽減
機能切替可能

フラッシュ撮影範囲:
広角時 約0.15m~約3.9m
望遠時 約0.4m~約2.0m

● フラッシュ連写:
広角時 約0.26m~約1.68m
望遠時 約0.4m~約0.87m

※ ISO感度オート時
※ 光学ズームにより、撮影範囲は変化し
ます。

撮影／録音関連機能... 静止画撮影(音声付き)、マクロ撮影、セルフタイマー撮影、連写、ベストショット撮影、動画撮影(ムービー、ショートムービー、パストムービー、ショートムービーとパストムービー以外のベストショットモードでの動画撮影)(音声付き)、音声録音(ボイスレコード)
※ 音声はモノラルです。

音声記録時間 音声付き静止画撮影: 1画像につき最長約30秒間
アフターレコーディング: 1画像につき最長約30秒間
ボイスレコード: 約18分(内蔵メモリーの場合)

モニター 2.8型ワイドTFTカラー液晶
230,400(960×240)画素

ファインダー 液晶モニター

時計機能 クォーツデジタル時計内蔵
日付・時刻: 画像データと同時に記録
タイムスタンプ機能あり
自動カレンダー: 2049年まで

ワールドタイム 世界162都市(32タイムゾーン)に対応
都市名、日付、時刻、サマータイム

入出力端子 クレードル接続端子

USB USB2.0 Hi-Speed 対応

マイク モノラル

スピーカー モノラル

■ 電源部、その他

電源.....リチウムイオン充電電池(NP-20)×1個
電池寿命

下記の電池寿命は温度23°Cで使用した場合の電源が切れるまでの目安であり、保証時間または保証枚数ではありません。低温下で使うと、電池寿命は短くなります。

撮影枚数(CIPA) ^{※1}	約200枚
連続再生時間(静止画) ^{※2}	約4時間50分
動画連続撮影時間	約1時間30分
ボイスレコード録音時間 ^{※3}	約6時間40分

- 使用電池:NP-20(定格容量:700mAh)
- 記録メディア:SDメモリーカード
- 測定条件

※1 撮影枚数(CIPA)

CIPA規準に準ずる

温度(23°C)、液晶モニターオン、30秒毎にズームのワイド端とテレ端で交互に撮影、フラッシュ発光(2枚に1回)、10回撮影に1度電源を切/入操作

※2 連続再生時間

温度(23°C)、約10秒に1枚ページ送り

※3 ボイスレコード録音時間は、連続で録音したときの時間です。

- 上記は、新品の電池のフル充電状態での数値です。繰り返し使用すると、電池寿命は徐々に短くなります。

- フラッシュ、ズーム、オートフォーカスの使用頻度や電源が入った状態の時間により、撮影時間または枚数は大幅に異なる場合があります。

消費電力.....DC3.7V 約4.3W

外形寸法.....幅94.5mm×高さ60.4mm×奥行き17.3mm
(突起部除く、最薄部13.7mm)

質量.....約127g(電池、付属品除く)

付属品.....リチウムイオン充電電池(NP-20)、USBクレードル(CA-34)、専用ACアダプター(AD-C52SまたはAD-C52G)／電源コード、USBケーブル、AVケーブル、ストラップ、CD-ROM、取扱説明書(保証書付き)

■ リチウムイオン充電電池(NP-20)

定格電圧3.7V
定格容量700mAh
使用周囲温度0~40°C
外形寸法幅33.0mm×高さ50.0mm×奥行き4.7mm
質量約16g

■ USBクレードル(CA-34)

入出力端子カメラ接続端子、USB接続端子、外部電源端子 (DC IN 5.3V)、AV接続端子(AV出力:NTSC /PAL標準方式準拠)
消費電力DC5.3V 約3.2W
サイズ幅109mm×高さ24mm×奥行き58mm (突起部除く)
質量約47g

■ 専用ACアダプター(AD-C52S)

入力電源AC100-240V 50/60Hz 90mA
出力電源DC5.3V 650mA
サイズ幅63mm×高さ20mm×奥行き50mm (突起部、ケーブル除く)
質量約76g

■ 専用ACアダプター(AD-C52G)

入力電源AC100-240V 50/60Hz 83mA
出力電源DC5.3V 650mA
サイズ幅50mm×高さ20mm×奥行き70mm (突起部、ケーブル除く)
質量約90g

別売品

● 充電器	BC-11L
● リチウムイオン充電電池	NP-20
● ソフトケース	ESC-81
● ネックストラップ	ENS-1
● ネックストラップ	ENS-2
● ネックストラップ	ENS-3
● モバイルAVケーブル	EMC-3A

別売品は、お買い求めの販売店、またはカシオ・オンライン
ショッピングサイト(e-カシオ)にご用命ください。
e-カシオ: <http://www.e-casio.co.jp/>

カシオデジタルカメラに関する情報は、カシオデジタルカメラ
オフィシャルWebサイトでもご覧になることができます。
<http://dc.casio.jp/>

索引

英数字

12 分割	104	PAL 方式	103	赤目用プリ発光	53
AC アダプター	26	PDF ファイル	162, 170	鮮やかさ	89
Adobe Reader	146, 162, 170	Photo Loader	146, 154, 164	アフレコ	117
AF エリア	80	インストール	154, 168	アングル補正	109
AF 補助光	48	Photo Transport	159	一時停止	98
AF 補助光 /		インストール	159	一覧表示	104
セルフタイマーランプ	48, 57	Photohands	146, 155	印刷	136
CASIO AVI Importer component	169	インストール	156	インストール	
インストール	169	PictBridge	136	Photo Loader	154, 168
CASIO DATA TRANSPORT	177	PictBridge 対応のプリンター	137	Photohands	156
インストール	177	PRINT Image Matching III	142	USB ドライバ	147
DCF 規格	172	PTP	133	液晶モニター	184
DirectX	146	QuickTime	61	明るさ	41
DPOF	139	SD メモリーカード	31	画質	42
DVD レコーダー	102	SDHC メモリーカード	31	情報	39
EV シフト	83	SD メモリーカード /		表示内容	36, 184
Exif Print	142	SDHC メモリーカードスロット付の		レイアウト	37
HD ズーム	51	プリンター	137	オート撮影	13
ISO 感度	87	T-Time 5.5.7 for CASIO	145	オート撮影アイコン	45
Language	132	USB driver Type B	146	オートパワーオフ	30
Mass Storage	133, 149, 165	USB クレードル	19	オートフォーカス	77, 78
MMC (マルチメディアカード)	31	USB 通信	133	制限事項	49
MMC <i>plus</i>		USB ドライバ		オートマクロ	79
(マルチメディアカードプラス)	31	インストール	147	お気に入りフォルダ	123
NTSC 方式	103	Windows Media Player	60, 61	登録	123
				ファイルを消去	127
				お手入れ	22
				音声	117
				静止画に音声を加える	59
				録音し直す	117
				録音する	59

あ

アイコンガイド	186
赤目軽減	52, 53

音声だけを録音する	118
音声付き静止画	59
音声を聞く	97
音声付き静止画の再生	97
音量	98, 129

か

海外で使うとき	43
回転	112
拡大	98, 104
画質	13
静止画	13
動画	15, 61
カスタム登録	69
画素	46
画像サイズ	13
変更する	46
画像転送	159
画像ルーレット	106
カレンダー形式	105
感度を上げる	72
キーカスタマイズ	92
聞く	
音声	97
静止画の音声	60
ボイスレコードの音声	120
基準線	93
起動画面	130
強制発光	52

クイックシャッター	46, 81
グリッド	93
蛍光灯	85
結露	22
光学ズーム	49
交換	
電池	28
メモリーカード	33
コピー	124
コントラスト	89

さ

再生音量	129
再生する	96
再生モード	29
彩度	89
撮影	
静止画	13, 44
動画	15, 61, 62
ムービー	62
撮影モード	29
撮影レビュー	93
色調	89
時刻	10
シャープネス	89
シャッター	13
シャッターチャンス	46
充電	9, 25, 26

使用環境	22
消去	17, 126
消去防止	122
ショートムービー	63
書類データ	175
ズーム撮影	49
ズームバー	50
スチル イン ムービー	66
スポット	88
スライドショー	99
スリープ	30
静止画	
一部を切り抜く	108
音声を加える	59
音声を追加する(後から)	117
画質	13
撮影する	13, 44
動画から作成する	115
動画撮影中に静止画を撮影する	66
見る	14, 96
整理	121
接続	
DVDレコーダー	102
テレビ	101
パソコン	148, 165
ビデオデッキ	102
セルフタイマー	56
全押し	14
鮮明さ	89
操作音	129
操作音量	129

操作パネル.....	37
測光方式.....	88
ソフト発光.....	52

た

退色補正.....	110
タイムスタンプ.....	90
旅先で使うとき.....	43
ためし撮り.....	21
中央重点.....	88
著作権.....	20
デジタルズーム.....	49
オフにする.....	51
デジタルズーム表示.....	50
手ブレ.....	71
テレビ.....	101
電源を入れる.....	29
電源を切る.....	29
電池	
入れる.....	9, 25
交換する.....	28
残量.....	27
充電する.....	9, 25
消耗を抑える.....	30
不良.....	27
保管.....	28
予備.....	43
電池カバー.....	25
電池残量.....	27

動画	
画質.....	15, 61
カットする.....	113
形式.....	61
サイズ.....	61
撮影する.....	15, 61, 62
見る.....	16, 97
動作確認用ランプ.....	13, 45
登録	
お気に入りフォルダ.....	123
トリミング.....	108

な

内蔵メモリー	
フォーマットする.....	134
メモリーカードにコピー.....	125
日時.....	131
日時設定.....	131
日時編集.....	111

は

パストムービー.....	65
パソコン	
画像を管理する.....	153
画像を保存する.....	151, 167
カメラの画像を見る.....	150, 167
接続.....	148, 165
動画を再生する.....	156, 169
動作環境.....	146, 164

発光禁止.....	52
早送り/早戻し.....	98
半押し.....	14
パンフォーカス.....	77, 82
ビジネスショット.....	73
被写体ブレ.....	71
ヒストグラム.....	90
日付と時刻.....	10, 131
日付の表示スタイル.....	131
日付プリント.....	141
ビデオ出力の方式.....	103
ビデオデッキ.....	102
表示言語.....	132
表示メニュー.....	36, 189
ピント	
合わせる.....	45, 77
ファイル.....	121
コピー.....	124
消去.....	127
ファイルサイズ	
音声.....	59
動画.....	61
ファイル名.....	121
フィルター.....	89
フォーカスフレーム.....	13, 45
フォーカスモード.....	77
フォーカスロック.....	81
フォーマット.....	12
内蔵メモリー.....	134
メモリーカード.....	12, 33

フォトスタンド	100
フォルダ	121
フォルダ構造	173
フォルダ名	121
フラッシュ	52
強さを変える	54
フラッシュアシスト	54
フラッシュオート	52
プリンター	
PictBridge 対応	137
プリンターでプリントする	137
プリント	136
プリントサービスのお店	136
プリントする画像や枚数	139
ブレ軽減	71
ベストショット	18, 67
シーン	67
編集	107
ボイスレコード	118
ホームタイム	
都市	131
日時	131
補正する	
明るさ	83
露出	83
保存	
内蔵メモリーに保存	11, 31
パソコンに保存	151
メモリーカードに保存	11, 31
ホワイトバランス調整	85

ま

マイベストショット	69
マクロ	77, 79
マニュアルフォーカス	77, 82
マニュアルホワイトバランス	86
マルチ (マルチパターン)	88
見る	
お気に入りフォルダ	123
静止画	14, 96
動画	16, 97
ムービー	
撮影する	62
ムービーアイコン	15, 16
無限遠	77, 82
明暗の差	89
メッセージ	197
メッセージの言語	10
メニュー	35
メニュー一覧表	186
メモリーカード	31
入れる	11, 32
交換する	33
フォーマットする	12
メモリープロテクト	122
モーションプリント	115
モードメモリ	94
モバイル AV ケーブル	102

や

ユーザー登録	162, 171
予備の電池	43
よみがえりショット	75

ら

リサイクル	23
リサイズ	107
リセット	95
レイアウト	37
連写	57
高速連写	57
ズーム連写	57
通常連写	57
フラッシュ連写	57
連続撮影	57
連番のカウント方法	130
録音	59
露出	
確認する	90
補正する	83

わ

ワールドタイム	132
---------	-----